新規ユーザー様向け
ESET PROTECTソリューション
バージョン8　環境構築手順

【第7版】

2022年1月11日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

0 目次

0 はじめに

- 本資料は、 ESET PROTECTソリューションをご購入いただいたお客さまが新たにバージョン8.Xのプログラムを導入する際の手順の流れをまとめた資料です。
- 本資料で使用している、各プログラム名の略称は以下の通りです。
  - ESET Endpoint アンチウイルス = EEA
  - ESET Endpoint Security = EES
  - ESET Server Security for Microsoft Windows Server = ESSW
  - ESET PROTECT = EP
  - ESET Management エージェント = EMエージェント
- 想定している構成環境は以下の2つです。

構成例 1

- 100クライアント以下・管理機能無し
- ESET Endpoint アンチウイルス(EEA)のミラー機能使用　※
- インターネットへの直接接続が可能なネットワーク(プロキシ無し)

構成例 2

- 400クライアント以下・管理機能あり(管理サーバーが必要)
- ESET Server Security for Microsoft Windows Server(ESSW)のミラー機能使用　※
- インターネットへの直接接続が可能なネットワーク(プロキシ無し)

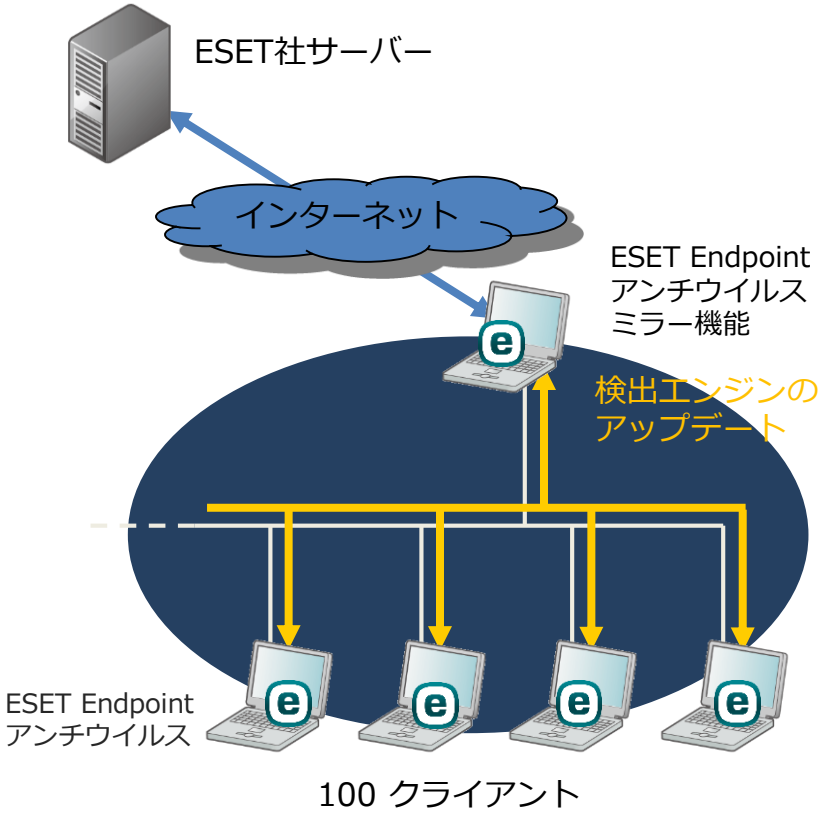
※ミラー機能とは検出エンジンをESET社のサーバーに代わり、クライアントに配信する機能です。
※2021年10月時点の各プログラムの最新バージョンは、EEA/EES V8.1、EP/EMエージェント V8.1、ESSW V8.0です。

※本資料ではEEA V8.1、ESSW V8.0、EP V8.1、EMエージェント V8.1 を使用しています。

1 構成例１　環境イメージ

構成例１
- 管理機能無し
- EEAのミラー機能を使用 ※

※EESのミラー機能でも同様の構成にすることが可能です。



構成	•1台の端末でミラー機能を運用(管理機能は無し) •端末は専用機・常時起動を推奨
ミラー端末 スペック	•CPU： 2コア以上 •メモリ： 2GB以上 •HDD：10GB以上 •ネットワークアダプタ： 1Gbps
ミラー端末の 利用プログラム	•ウイルス対策およびミラー機能： ESET Endpoint アンチウイルス V8.1
クライアントPCの 利用プログラム	•ウイルス対策：ESET Endpoint アンチウイルス V8.1
クライアント数の 目安	•100クライアントまで

1 構成例１　構築作業フロー

事前準備

・環境構築時に必要な情報の確認

ミラー端末の構築

・EEAのインストール
・ミラー機能の有効化

クライアントPCへの展開

・設定読み込み型インストーラーの作成
・各端末で設定読み込み型インストーラーの実行

クライアントPCの確認

1 事前準備 - 環境構築時に必要な情報確認

- 以下のURLからユーザーズサイトにログインします。
  - ユーザーズサイト：https://canon-its.jp/product/eset/users/

  ※ログインには、シリアル番号およびユーザー名が必要です。

- 環境の構築に必要なライセンス情報およびプログラムをダウンロードします。
  - ESET Endpoint アンチウイルス V8.1

  ※「プログラム/マニュアル」→「最新バージョンのダウンロード」
  →「■Windows向けクライアント用プログラム」に進み、環境にあったEEAをダウンロードしてください。

  - 製品認証キー

  ※「ライセンス情報/申込書作成」に進み、アクティベーション情報配下にある「製品認証キー」の情報を確認してください。

1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

ミラー端末となるPCに「ESET Endpoint アンチウイルス V8.1」のインストールを行います。

- ミラー端末となるPC上で「ESET Endpoint アンチウイルス V8.1」のインストーラーをダブルクリックします。

重要

ESET Endpoint アンチウイルスをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。

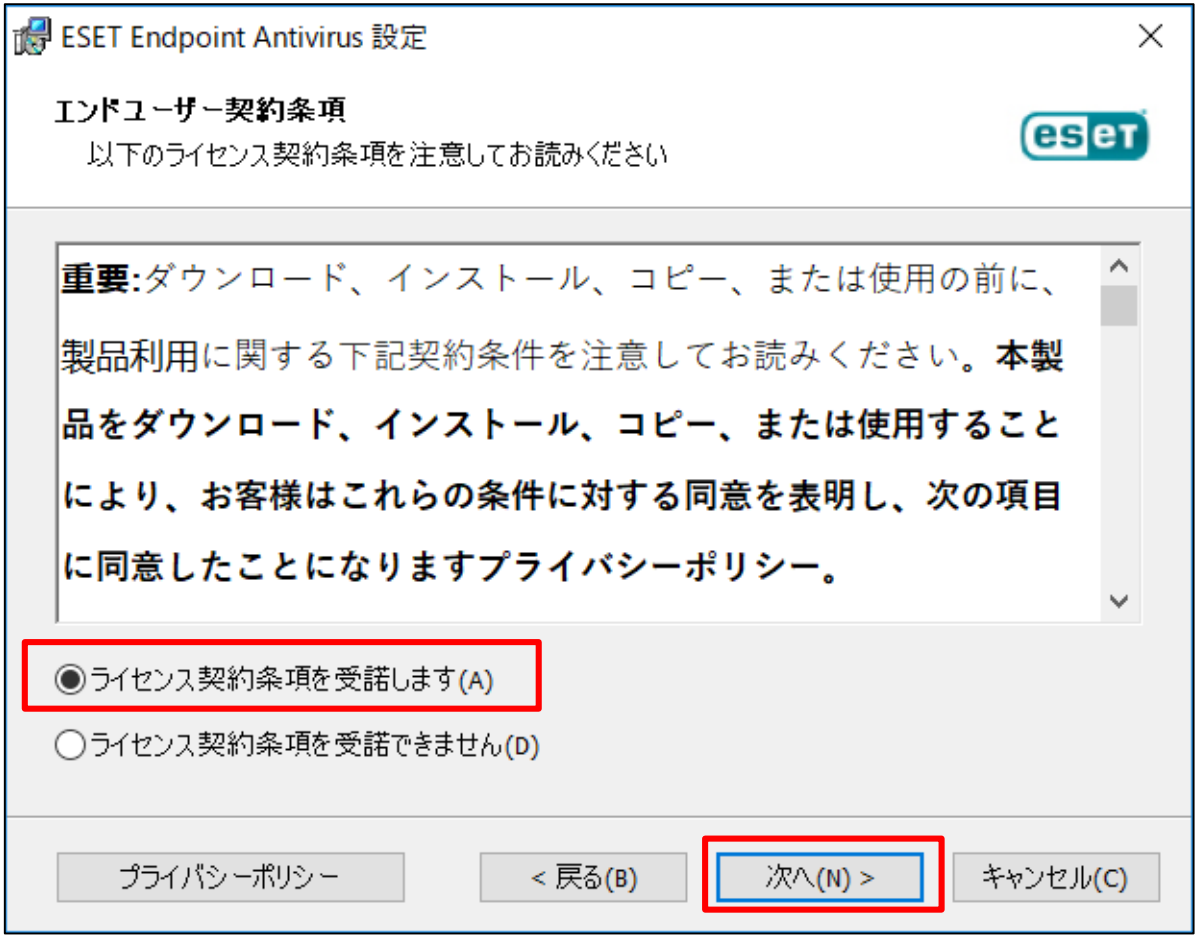
1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

- ESET Endpoint Antivirusセットアップウィザードが表示されましたら「次へ」をクリックします。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

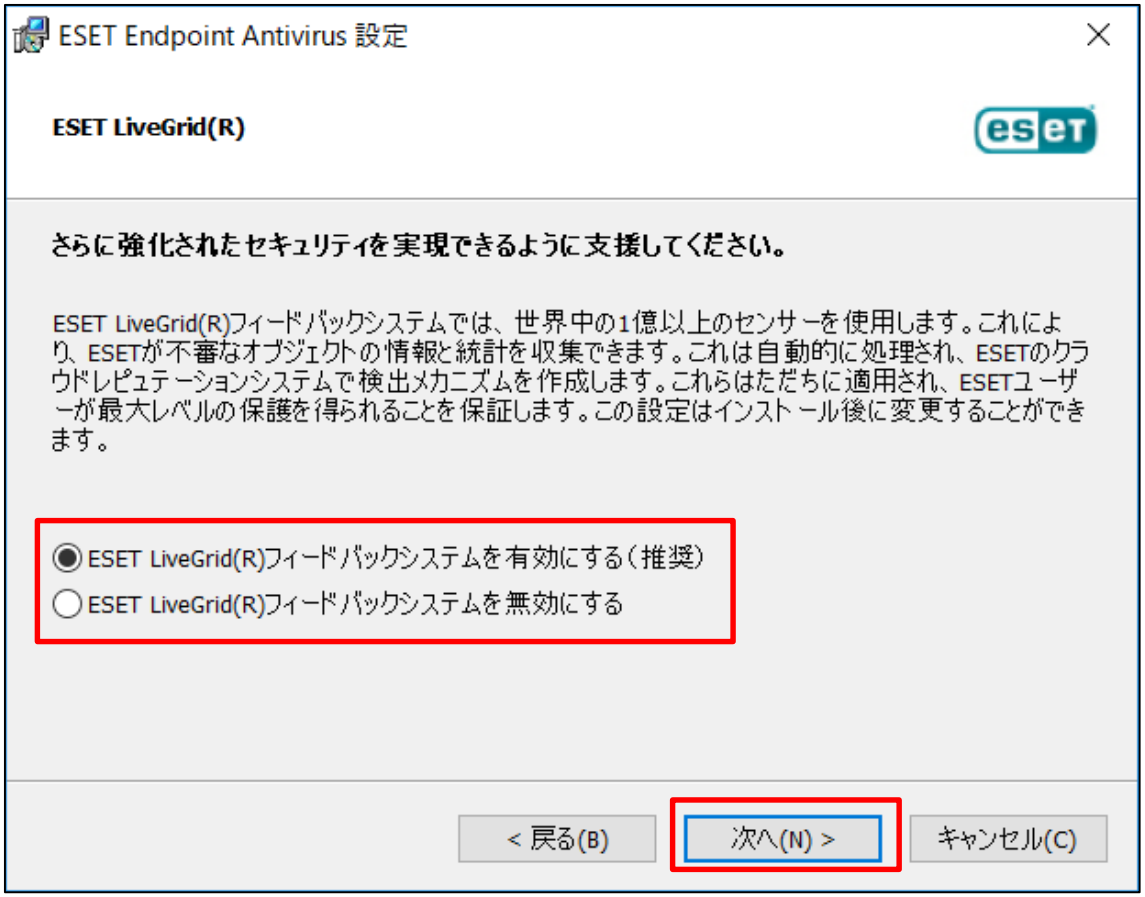
- エンドユーザー契約条項で「ライセンス契約条項を受諾します」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

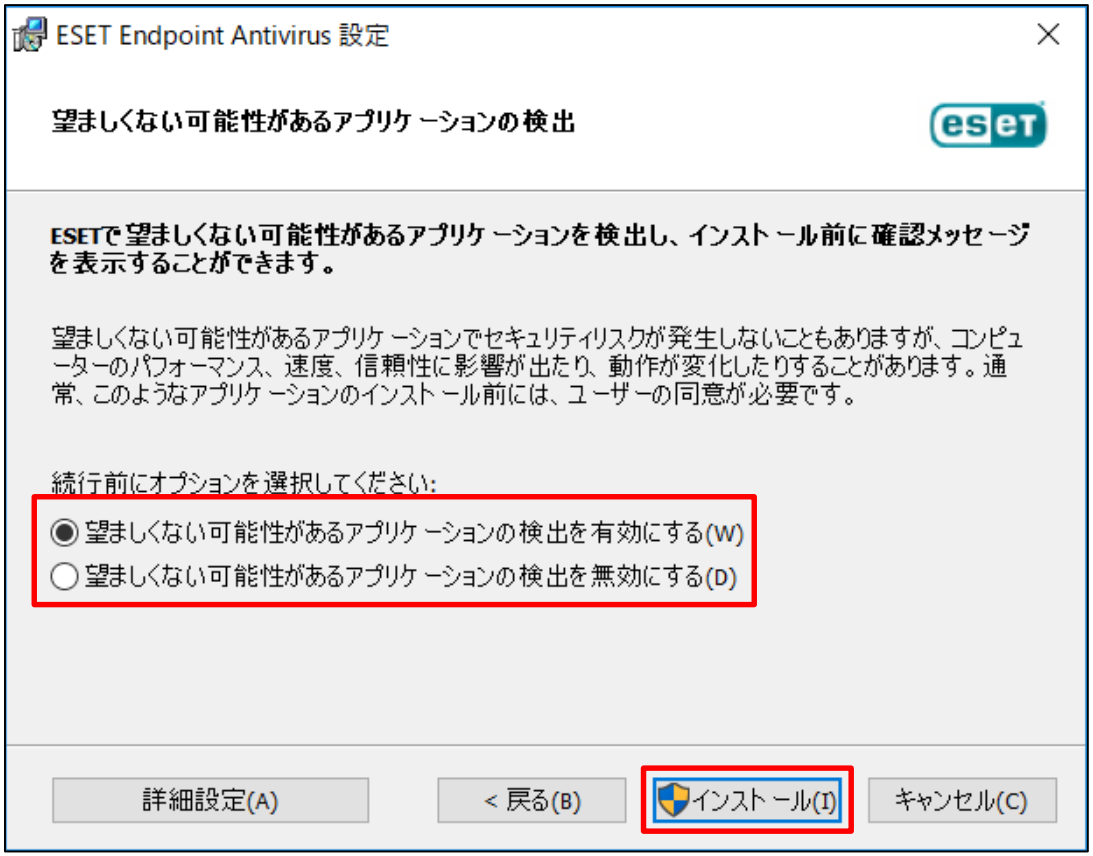
- 「ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨)」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。

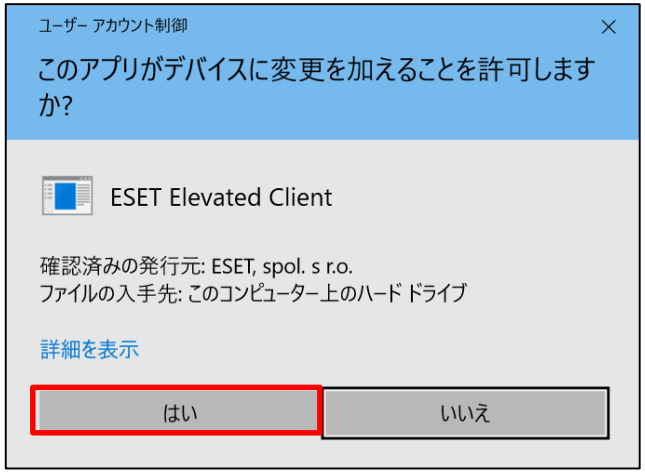


※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

- 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出有無を選択します。
- 「インストール」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。





※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

- インストールが完了しますと、以下の画面が表示されます。
- 「完了」をクリックし、インストールを終了します。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

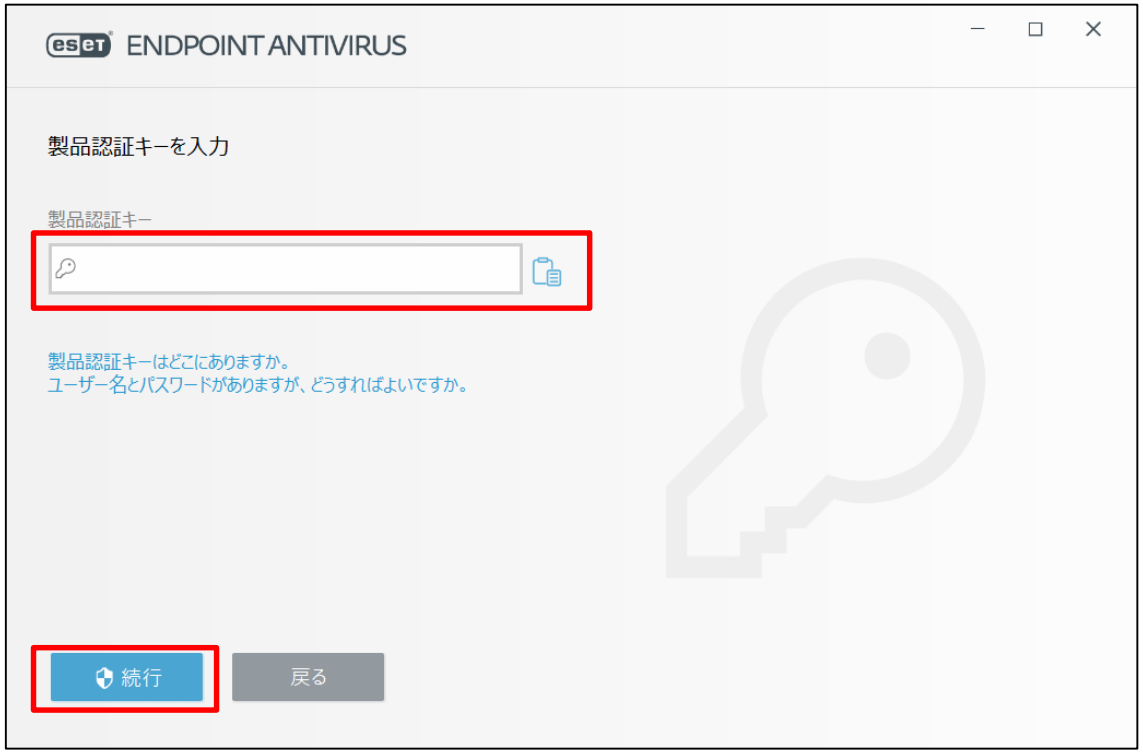
1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

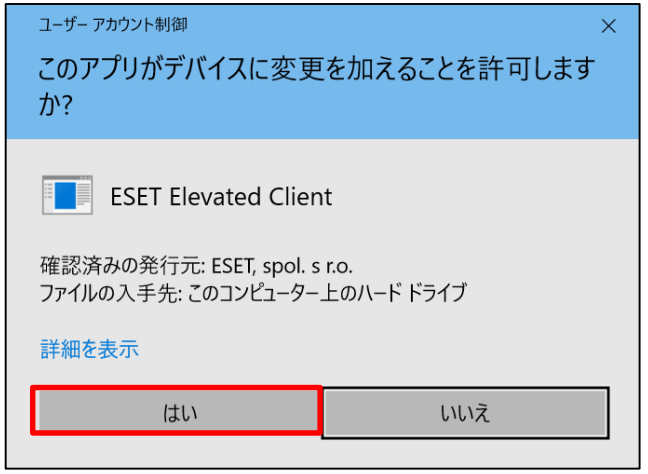
- 以下の画面が表示されましたら、「購入した製品認証キーを使用」をクリックします。
  ※プロキシサーバー経由でインターネットに接続する環境の場合は、先に以下の設定を入力したうえで、アクティベーションを実施してください。
  [設定]→[詳細設定]より、[ツール]→[プロキシサーバ]に入力してください。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

- P.5で確認した製品認証キーを入力します。
- 「続行」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



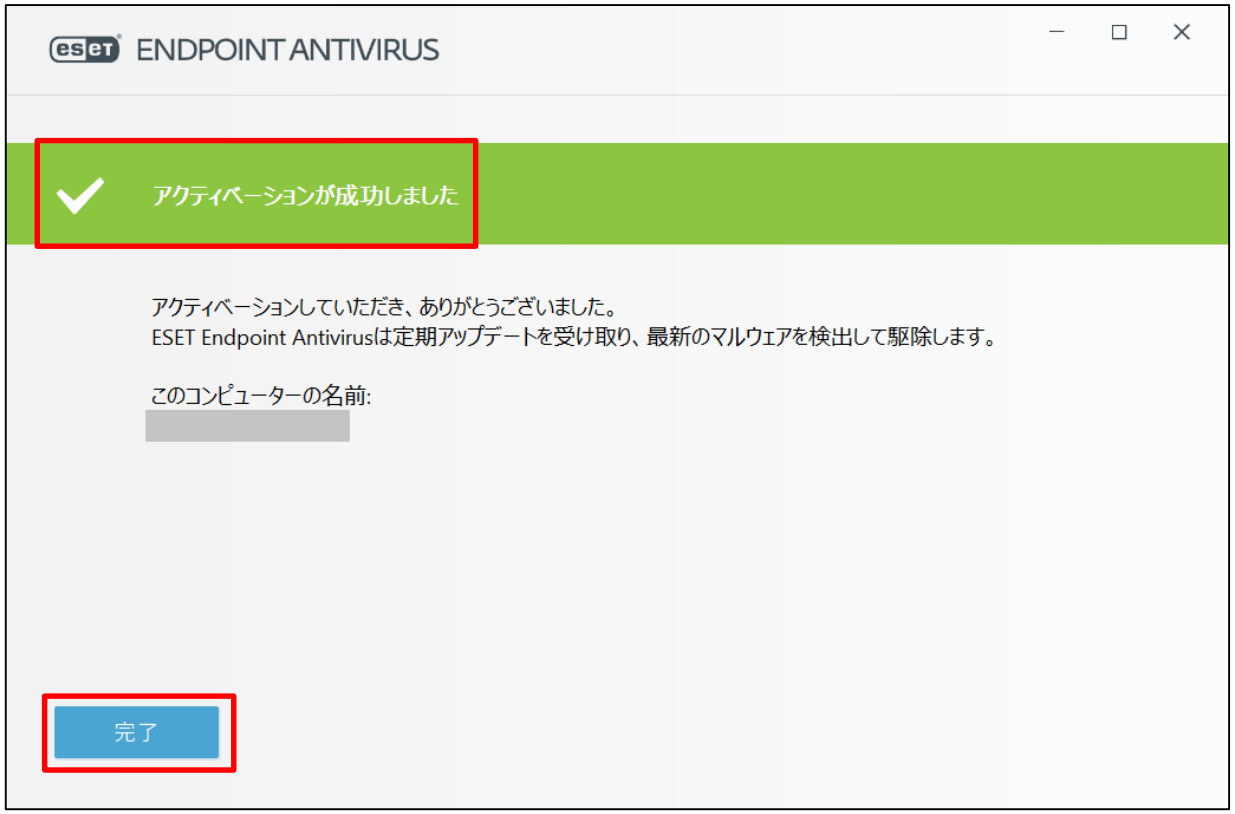


※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – EEAのインストール

- 「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、アクティベーションは完了しております。
- 「完了」をクリックします。

以上で、「EEAのインストール」作業は完了です。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – ミラー機能の有効化

ミラー機能を有効化して、ミラー端末を構築します。

- ESET Endpoint アンチウイルスの画面を表示し、キーボードの「F5」キーを押して、詳細設定画面を表示します。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – ミラー機能の有効化

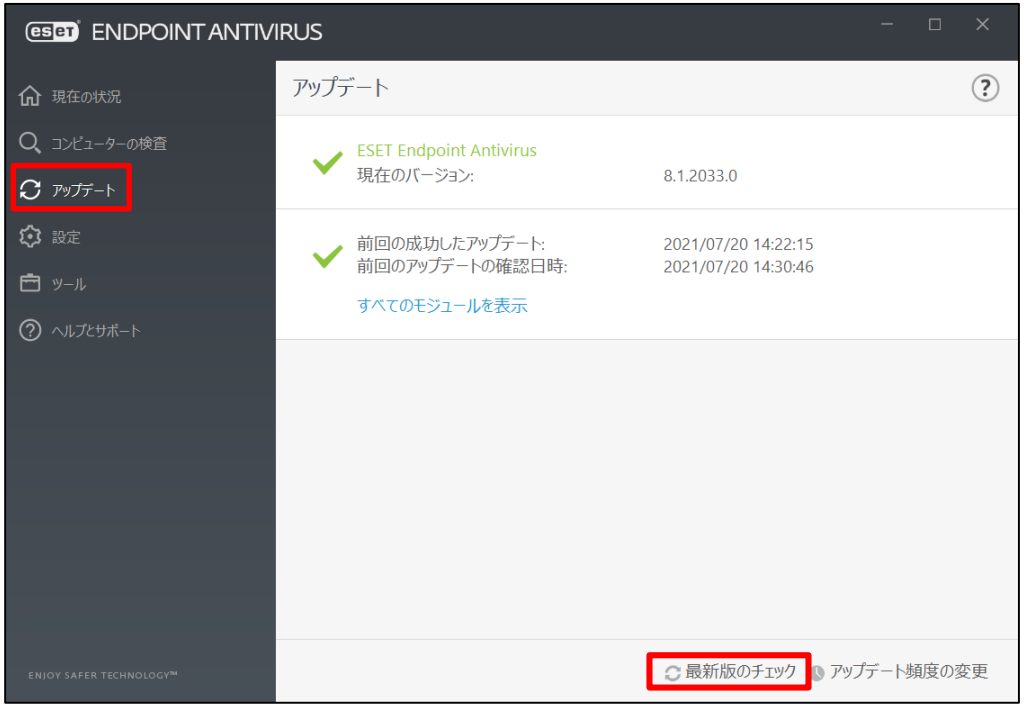
- 詳細設定画面の「アップデート」→「プロファイル」→「アップデートミラー」をクリックし、「アップデートミラーの作成」をオンにします。
- 「OK」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 ミラー端末の構築 – ミラー機能の有効化

- ESET Endpoint アンチウイルスの画面の「アップデート」→「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートします。
  ※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」を
  クリックしてから、再度アップデートを行ってください。

以上で、「ミラー機能の有効化」作業は完了です。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

各端末へ展開するための設定読み込み型インストーラーを作成します。

- P.6～P.14 の「ミラー端末の構築 –EEAのインストール」と同様の手順で任意の端末一台にEEAをインストールをします。

重要

ESET Endpoint アンチウイルスをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。

1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

- ESET Endpoint アンチウイルスの画面を表示し、キーボードの「F5」キーを押して、詳細設定画面を表示します。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

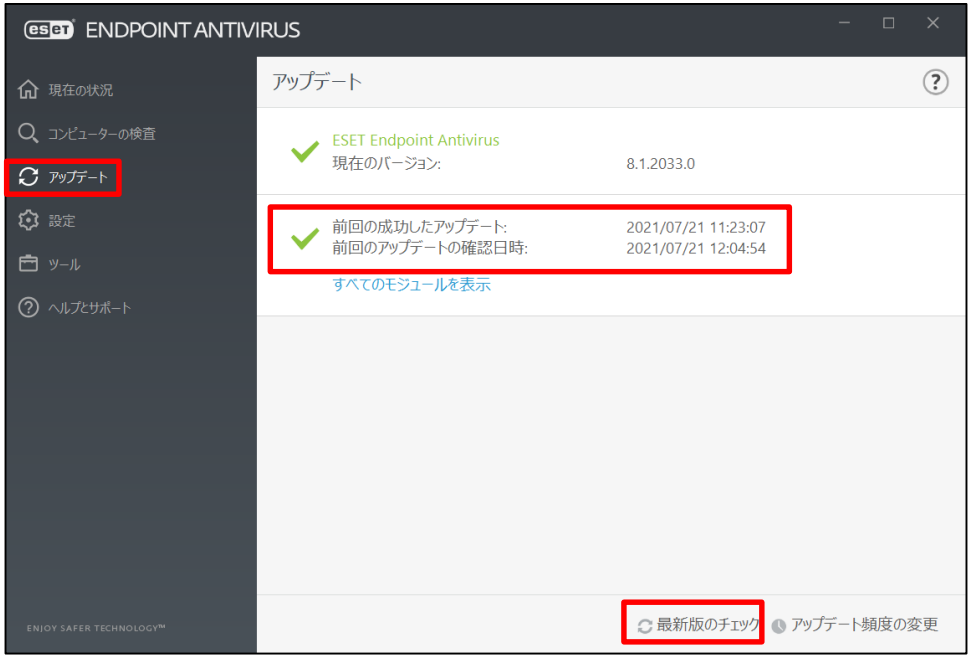
- 詳細設定画面の「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックし「モジュールアップデート」→「自動選択」をオフにします。
- 「カスタムサーバー」に「http://ミラー端末のIPアドレス:2221」を入力します。
- その他に変更する設定がある場合は、設定を変更します。
  ※プロキシサーバーがある場合は、P12と同様に設定します。
- 「OK」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

- ESET Endpoint アンチウイルスの画面の「アップデート」→「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートし、ミラー端末からアップデートできることを確認します。

※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。
※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

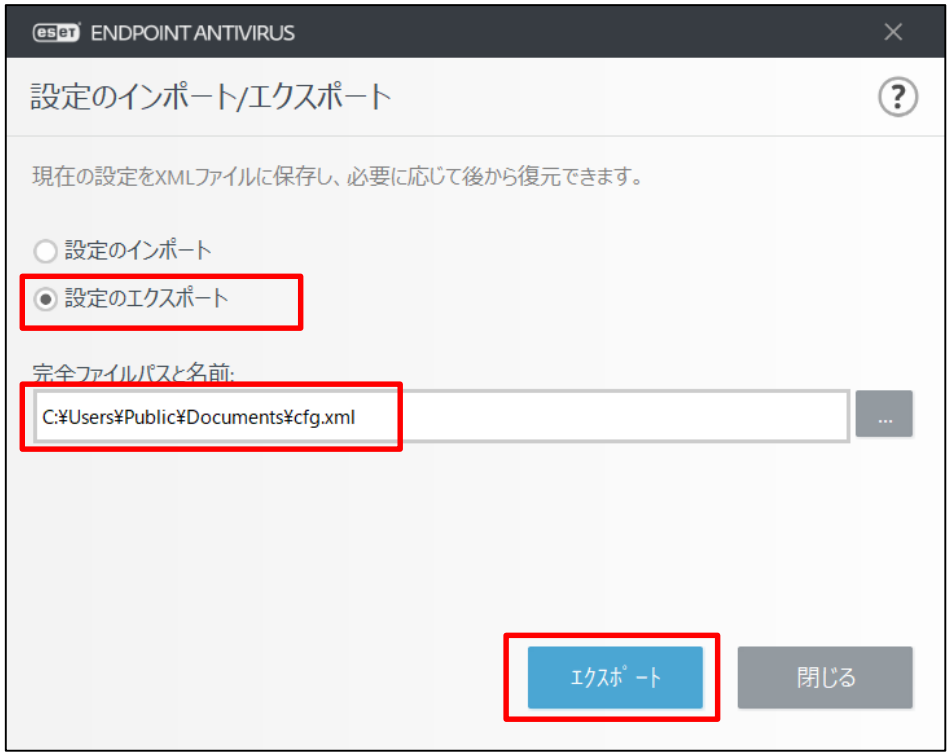
1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

- ESET Endpoint アンチウイルスの画面の「設定」→「設定のインポート/エクスポート」をクリックします。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

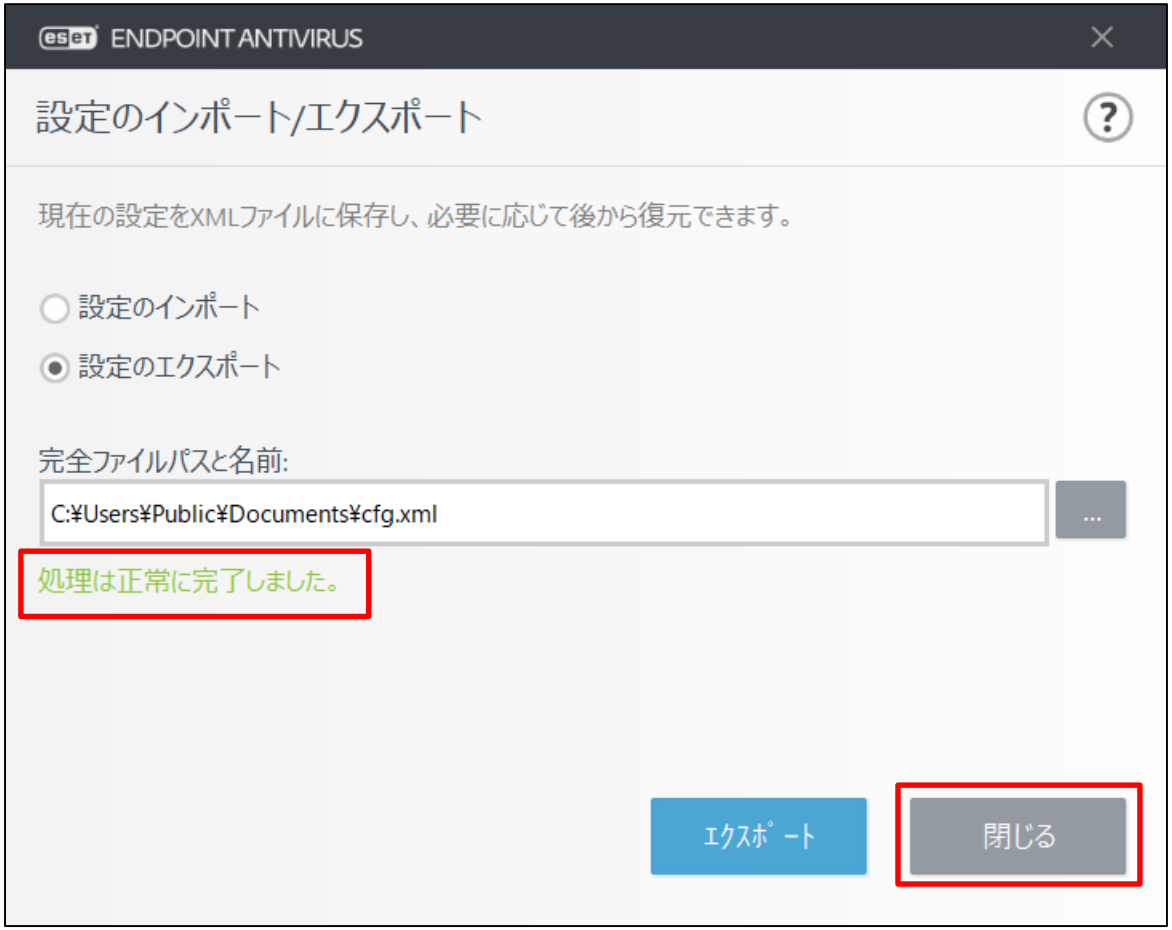
- 「設定のエクスポート」にチェックを入れます。
- エクスポートする設定ファイルの完全ファイルパスとファイル名を入力します。
  設定ファイルは読み込み型インストーラーで使用するため、必ずファイル名を「**cfg.xml**」としてください。
- 「エクスポート」をクリックします。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

- 「処理は正常に完了しました。」と表示されましたら、「閉じる」をクリックします。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開 –設定読み込み型インストーラーの作成

- メモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとしてbat形式で任意の名前を付けて保存します。(例：setupeea.bat)

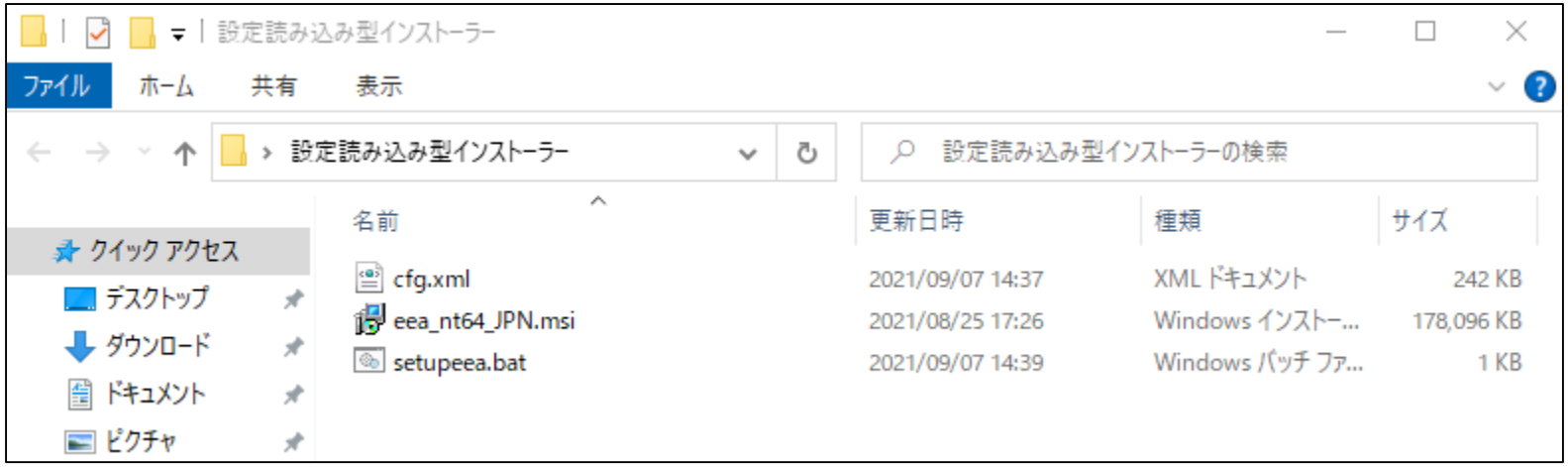
  入力コマンド：msiexec /i eea_nt64_JPN.msi /qb!

  ※入力コマンドの詳細については下記のサポートページを参照してください。

  https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/20?site_domain=business

- 「ESET Endpoint アンチウイルス V8.1」のインストーラー(eea_nt64_JPN.msi)、設定ファイル(cfg.xml)、バッチファイル(setupeea.bat)を１つのファルダーに保存します。

以上で、「設定読み込み型インストーラーの作成」作業は完了です。



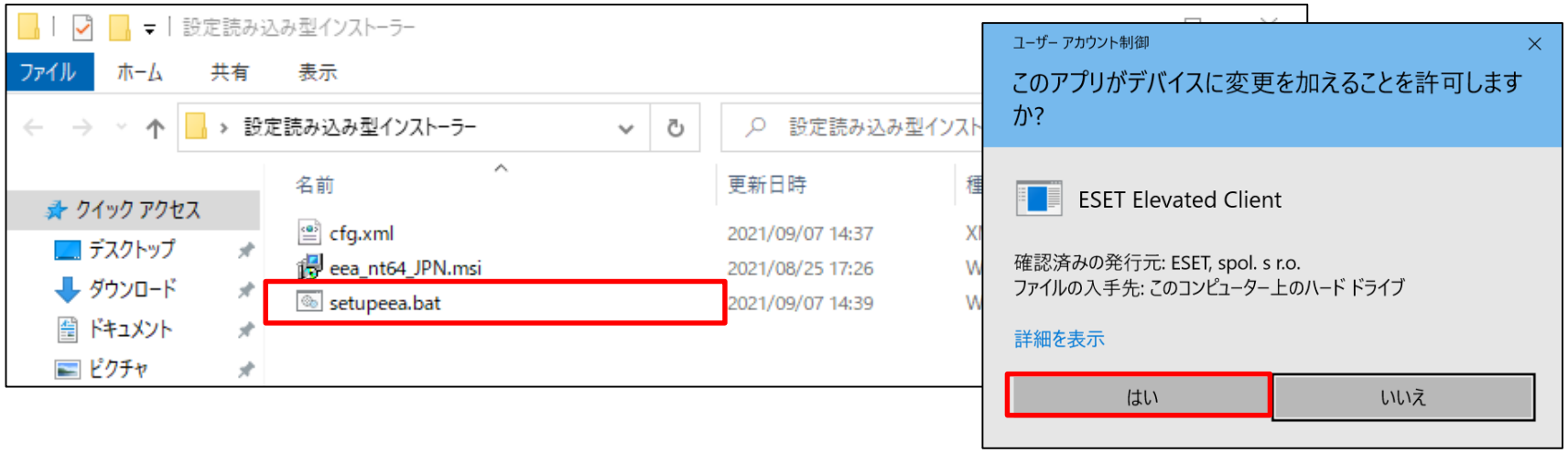
1 クライアントPCへの展開
–各端末で設定読み込み型インストーラーの実行

作成した設定読み込み型インストーラーを各端末で実行し、EEAをインストールします。

- 作成したフォルダー(設定読み込み型インストーラー)を各端末のデスクトップなどにコピーします。
- コピーしたフォルダーを開き、バッチファイル(setupeea.bat)をダブルクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

重要

ESET Endpoint アンチウイルスをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。



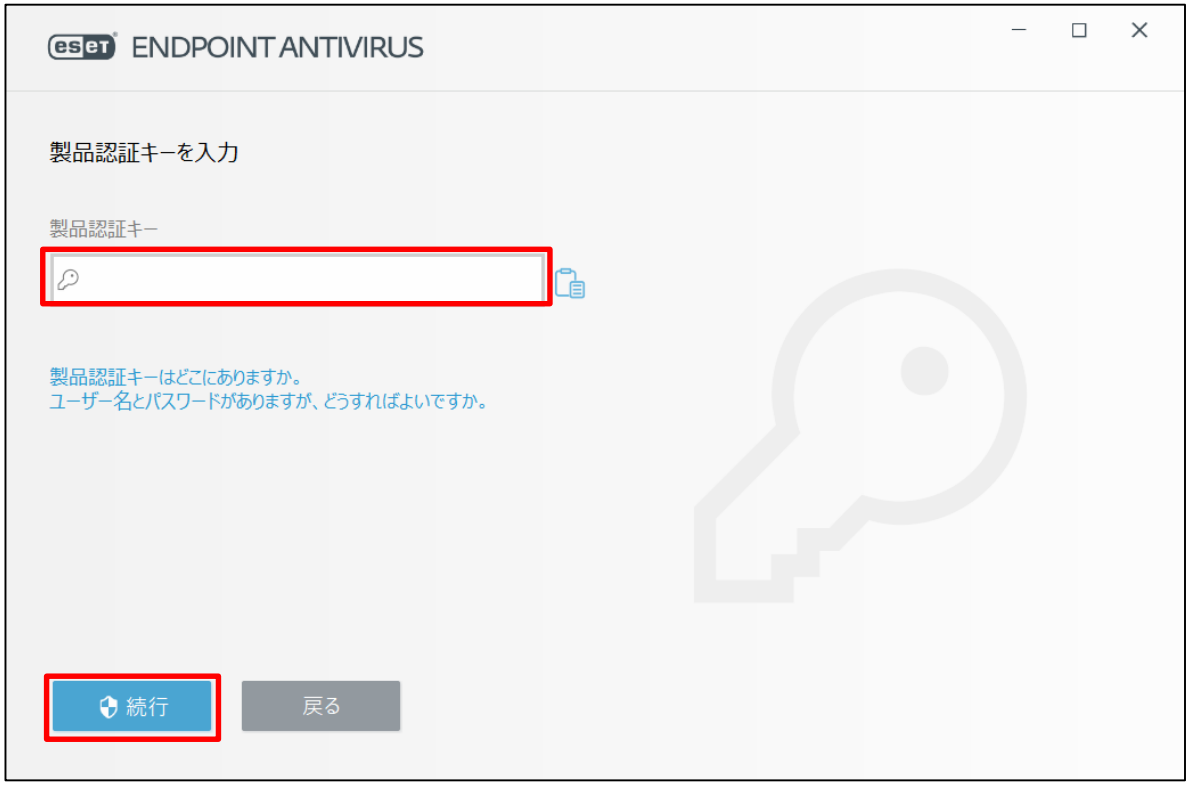
1 クライアントPCへの展開
–各端末で設定読み込み型インストーラーの実行

- 以下の画面が表示されましたら、「購入した製品認証キーを使用」をクリックします。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開
–各端末で設定読み込み型インストーラーの実行

- P.5で確認した製品認証キーを入力します。
- 「続行」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

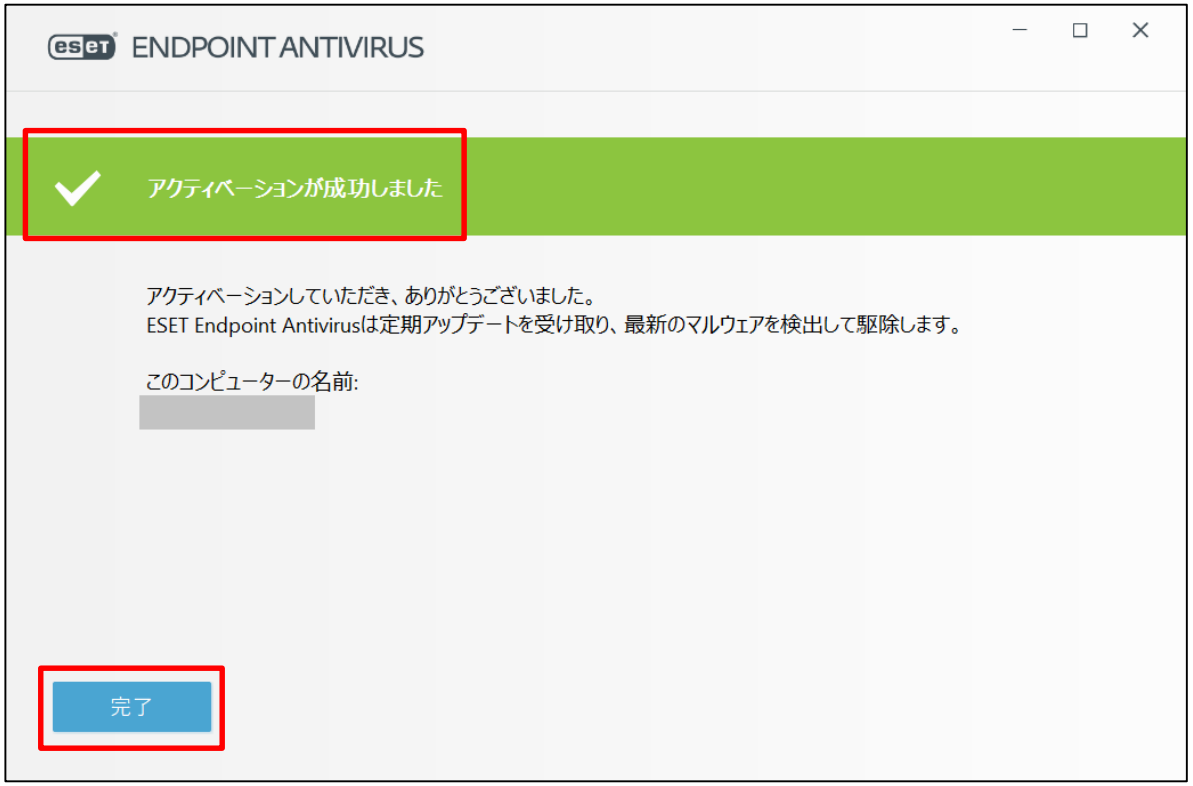


※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCへの展開
–各端末で設定読み込み型インストーラーの実行

- 「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、アクティベーションは完了しております。
- 「完了」をクリックします。

以上で、「各端末で設定読み込み型インストーラーの実行」作業は完了です。

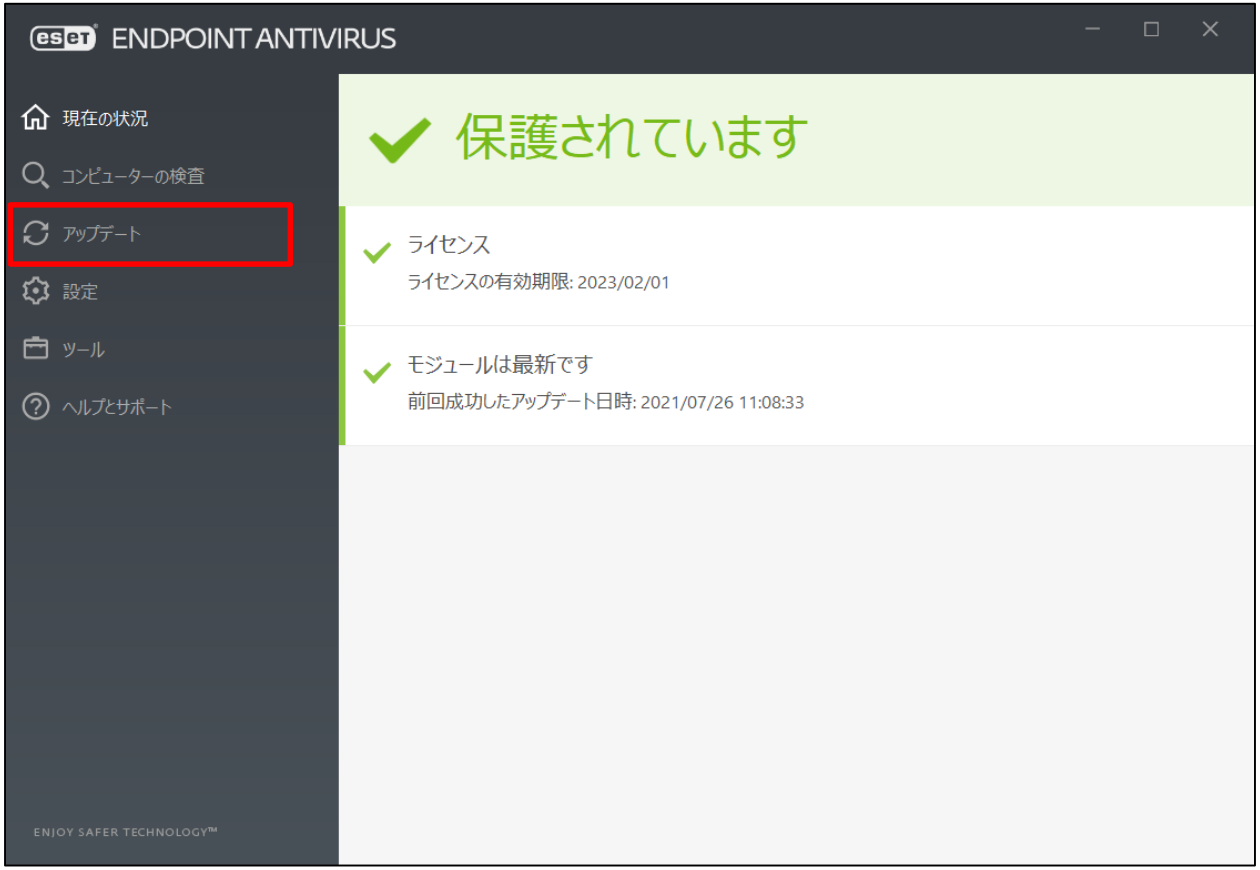


※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCの確認

環境構築作業の確認として、各クライアントPCで確認を行います。

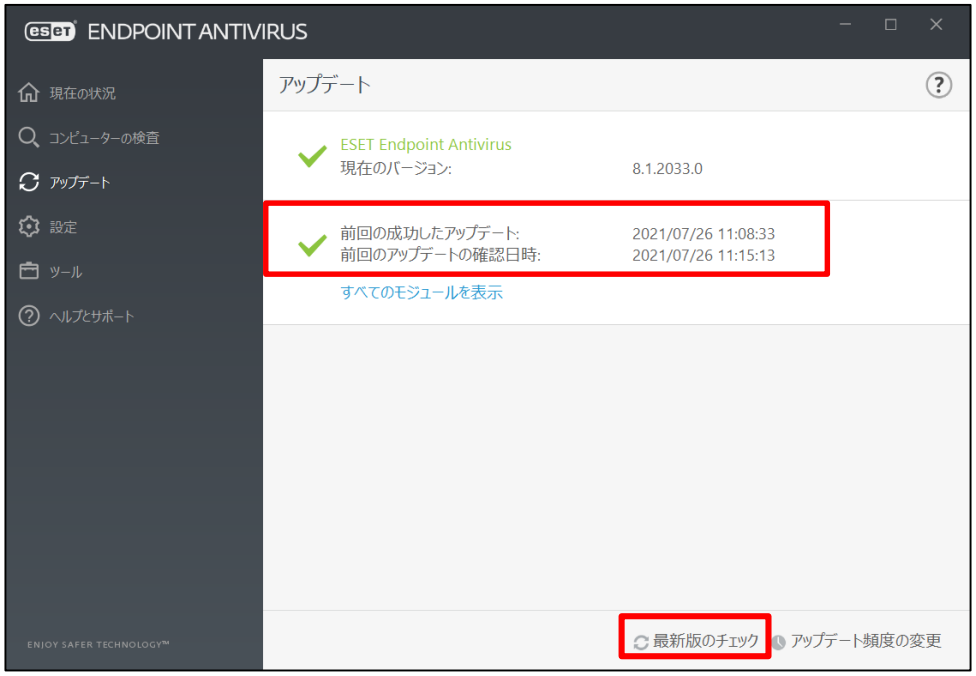
- ESET Endpoint アンチウイルスの画面を表示し、「アップデート」をクリックします。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

1 クライアントPCの確認

- 「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートし、ミラー端末からアップデートできることを確認します。
  ※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。
  ※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。

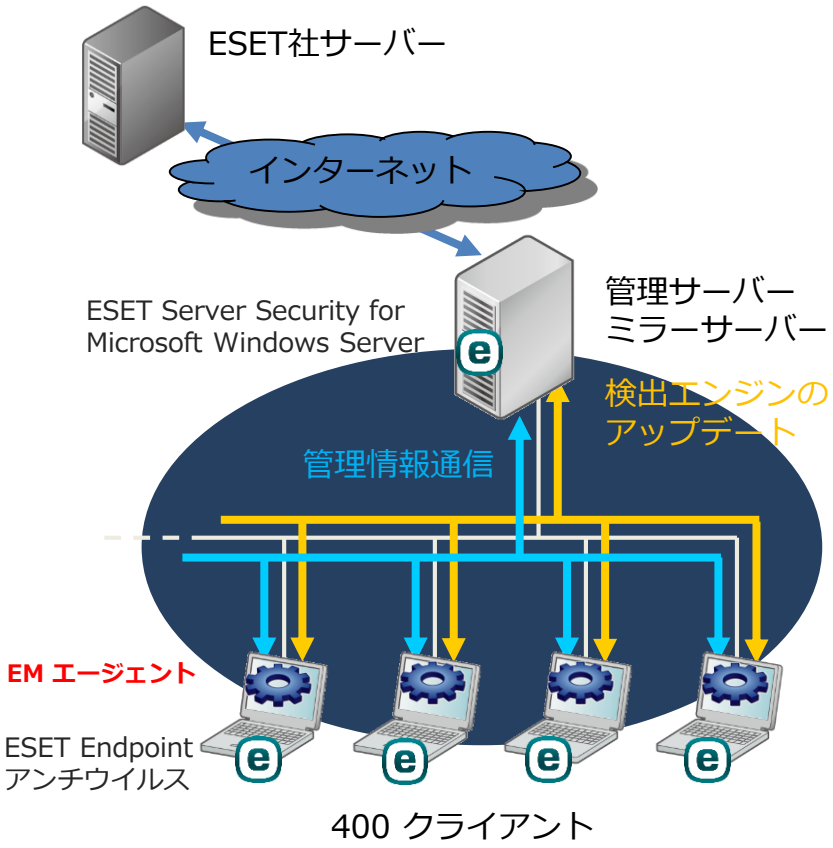


※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

以上で、構成例１の構築作業は終了となります。

2 構成例２　環境イメージ

構成例２
・管理機能あり
・ESSWのミラー機能を使用



構成	•1台のサーバー機で管理機能とミラー機能を運用 ※専用サーバーを推奨
サーバー スペック	•CPU： 2コア以上 •メモリ： 4GB以上 •HDD：50GB以上 •ネットワークアダプタ： 1Gbps
サーバーの 利用プログラム	•ウイルス対策およびミラー機能：ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 •管理機能：ESET PROTECT V8.1 •EPとの通信：ESET Management エージェント V8.1 •データベース：MS SQL Express(既定)
クライアントPCの 利用プログラム	•ウイルス対策：ESET Endpoint アンチウイルス V8.1 •EPとの通信：ESET Management エージェントV8.1
クライアント数の 目安	•400クライアントまで

2 構成例2　構築作業フロー

事前準備

・環境構築時に必要な情報の確認

サーバーの構築

・ミラーサーバーの構築
・管理サーバーの構築

クライアントPCへの展開

・ミラーサーバーに接続するポリシーの作成
・オールインワンインストーラーの作成
・オールインワンインストーラーの実行

管理するクライアントPCの確認

2 事前準備 - 環境構築時に必要な情報確認

- 以下のURLからユーザーズサイトにログインします。
  - ユーザーズサイト：https://canon-its.jp/product/eset/users/

  ※ログインには、シリアル番号およびユーザー名が必要です。

- 環境の構築に必要なライセンス情報およびプログラムをダウンロードします。
  - ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0

  ※「プログラム/マニュアル」→「最新バージョンのダウンロード」→「■Windows Server向けクライアント用プログラム」に進み、環境にあったESSWをダウンロードしてください。

  - ESET PROTECT

  ※「プログラム/マニュアル」→「最新バージョンのダウンロード」→「■セキュリティ管理ツール」に進み、環境にあったEPのオールインワンインストーラーをダウンロードしてください。

  - 製品認証キー

  ※「ライセンス情報/申込書作成」に進み、アクティベーション情報配下にある「製品認証キー」の情報を確認してください。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

サーバーに「ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0」をインストールし、サーバーのウイルス対策およびミラーサーバーを構築します。

- サーバー上で、「ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0」のインストーラーをダブルクリックします。

重要

ESET Server Security for Microsoft Windows Serverをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。

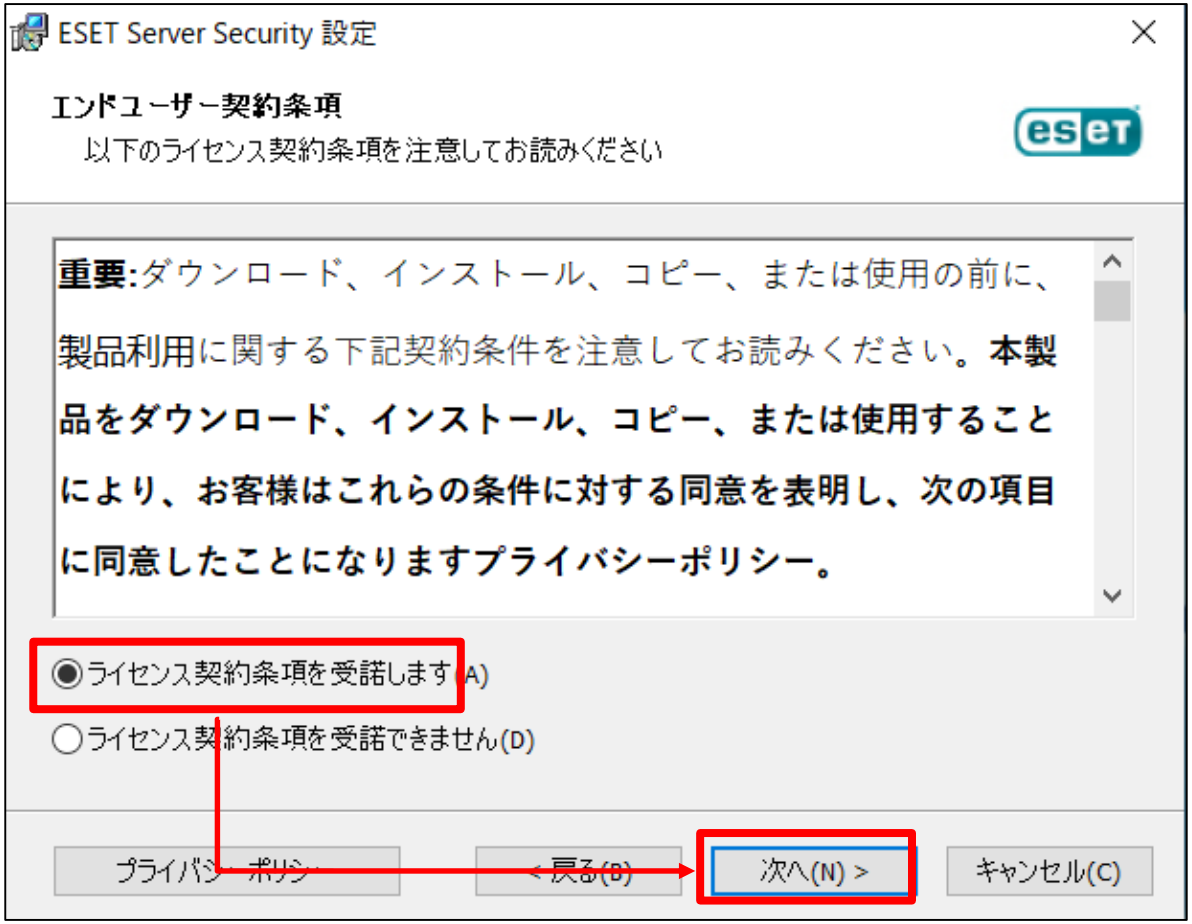
2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- ESET Server Securityセットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。

※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

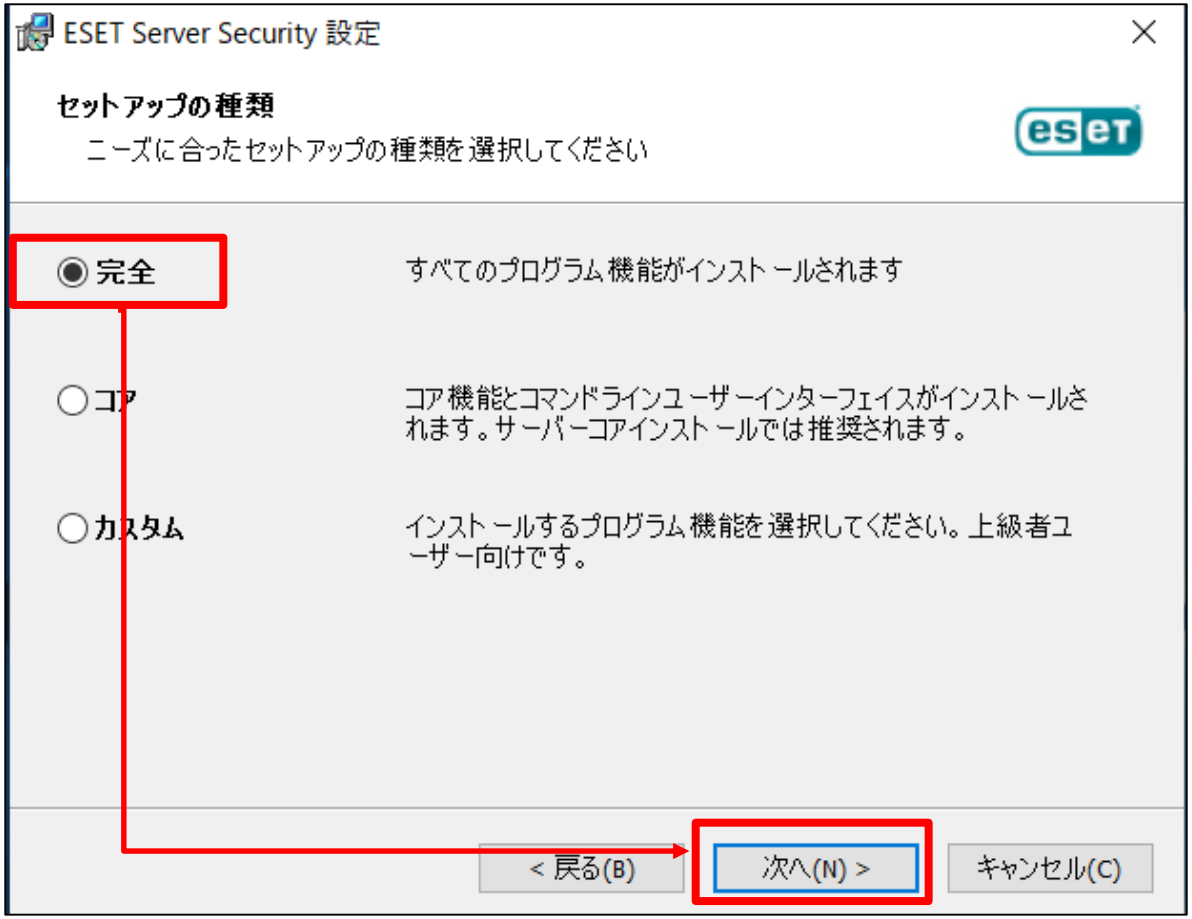
- エンドユーザー契約条項で「ライセンス契約条項を受諾します」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- セットアップの種類で「完全」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- インストールフォルダは既定値のままに設定し、「インストール」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- インストールが完了しますと、以下の画面が表示されます。
- 「完了」をクリックし、インストールを終了します。

※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- 以下の画面が表示されましたら、「購入した製品認証キーを使用」をクリックします。
  ※プロキシサーバー経由でインターネットに接続する環境の場合は、先に以下の設定を入力したうえで、アクティベーションを実施してください。
  [設定]→[詳細設定]より、[ツール]→[プロキシサーバ]に入力してください。

※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

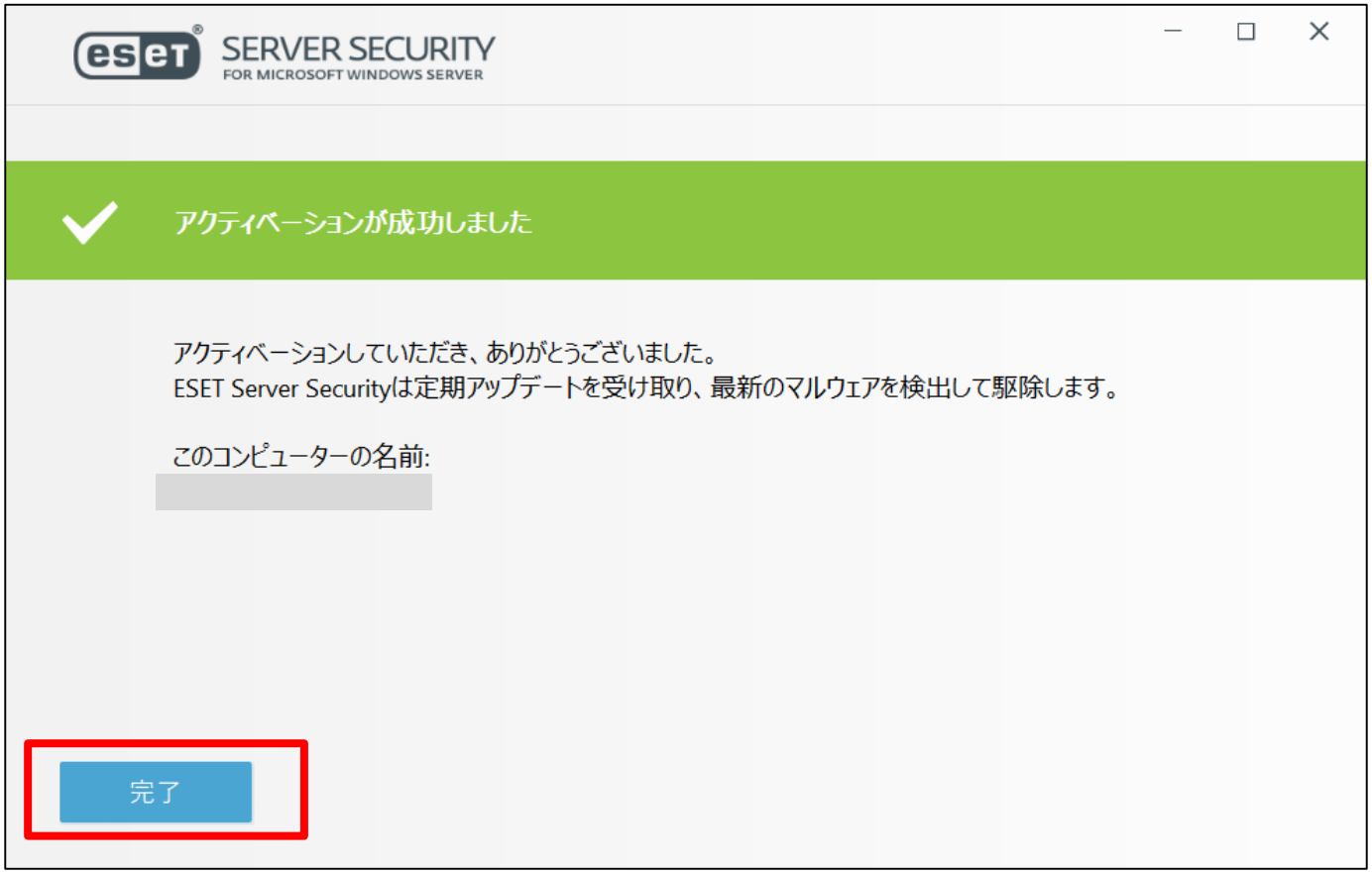
2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- 製品認証キーを入力します。
- 「続行」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- 「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、アクティベーションは完了しております。
- 「完了」をクリックします。



※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- ESET Server Security for Microsoft Windows Serverの画面を表示します。
- 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出有無を選択し、「OK」をクリックします。
- 「ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨)」にチェックをし、「OK」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

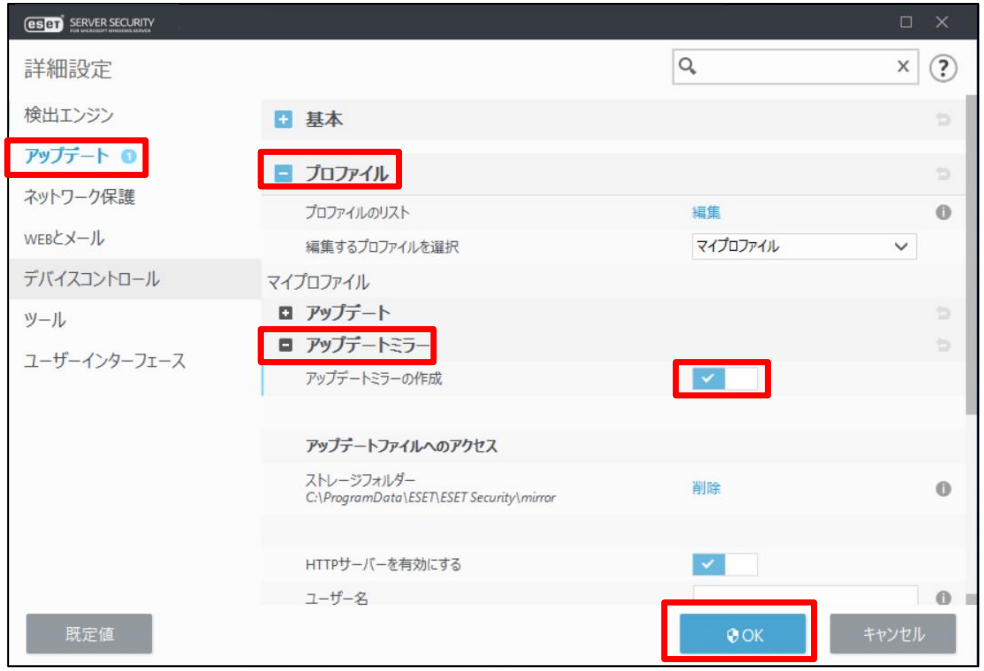
2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- ESET Server Security for Microsoft Windows Serverの画面にて、キーボードの「F5」キーを押して、詳細設定画面を表示します。

※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- 詳細設定画面の「アップデート」→「プロファイル」→「アップデートミラー」をクリックし、「アップデートミラーの作成」をオンにします。
- 「OK」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



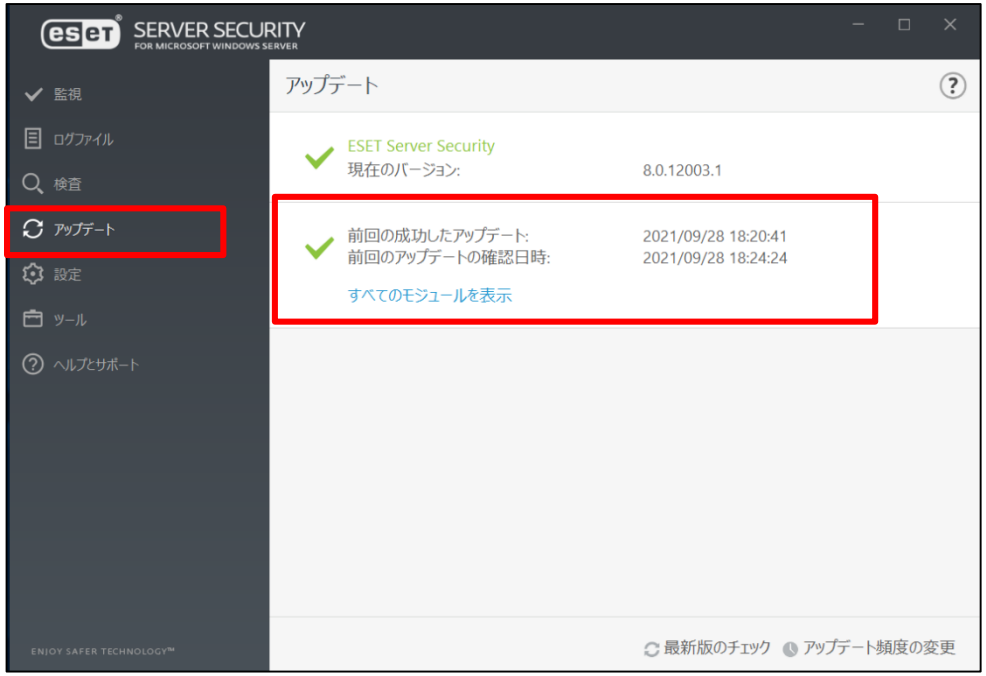
※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

2 サーバーの構築 – ミラーサーバーの構築

- ESET Server Security for Microsoft Windows Serverの画面の「アップデート」→「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートします。

  ※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。

以上で、「ミラーサーバーの構築」作業は完了です。



※画像は、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0のものです。

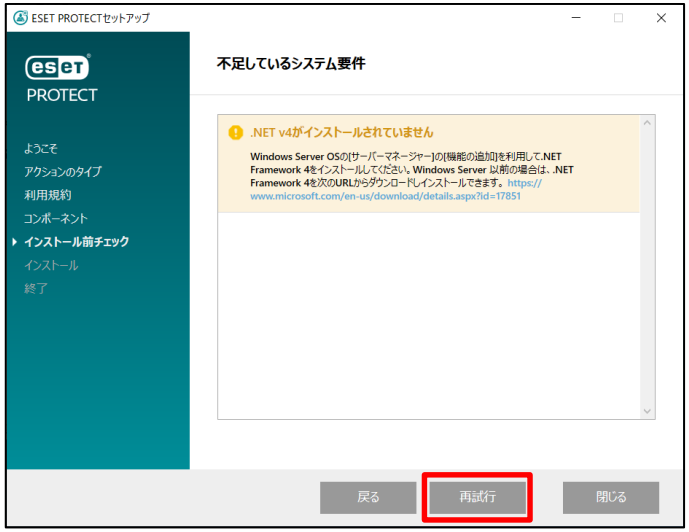
2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

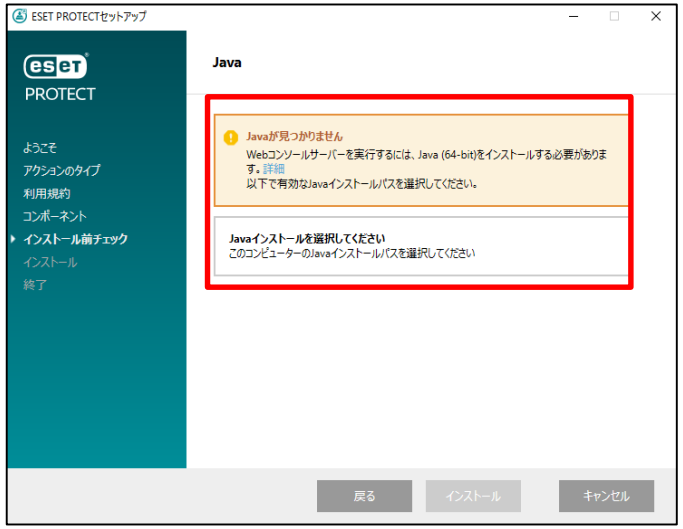
サーバーに「ESET PROTECT」をインストールし、管理サーバーを構築します。

- インストール作業を行う前に、事前に「64bit版のJava」および「.NET Framework 4」をインストールしてください。

※インストールされていない場合、ESET PROTECT をインストール途中で、以下の画面が表示されますので、表示された場合は上記のミドルウェアをインストール後、「再試行」をクリックしてください。

※Javaに関しては、有償版JREまたは無償版JDKであるAmazon Corretto8の使用を推奨しております。AmazonCorretto8のインストール方法については以下URLをご参照ください。

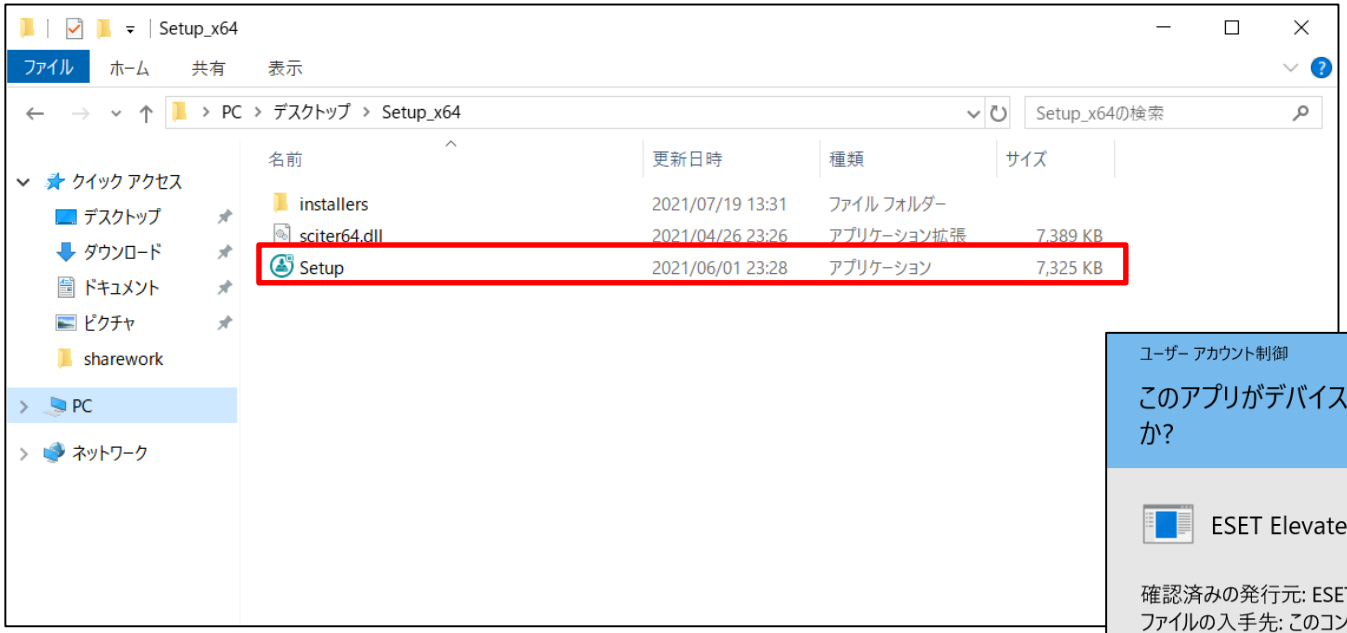


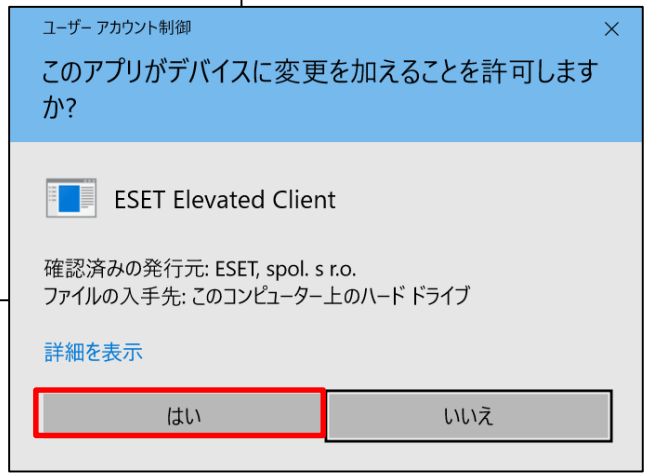


【構築手順】Windows Server環境で、オープンソースJDKを利用してセキュリティ管理ツールをインストールするには？
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

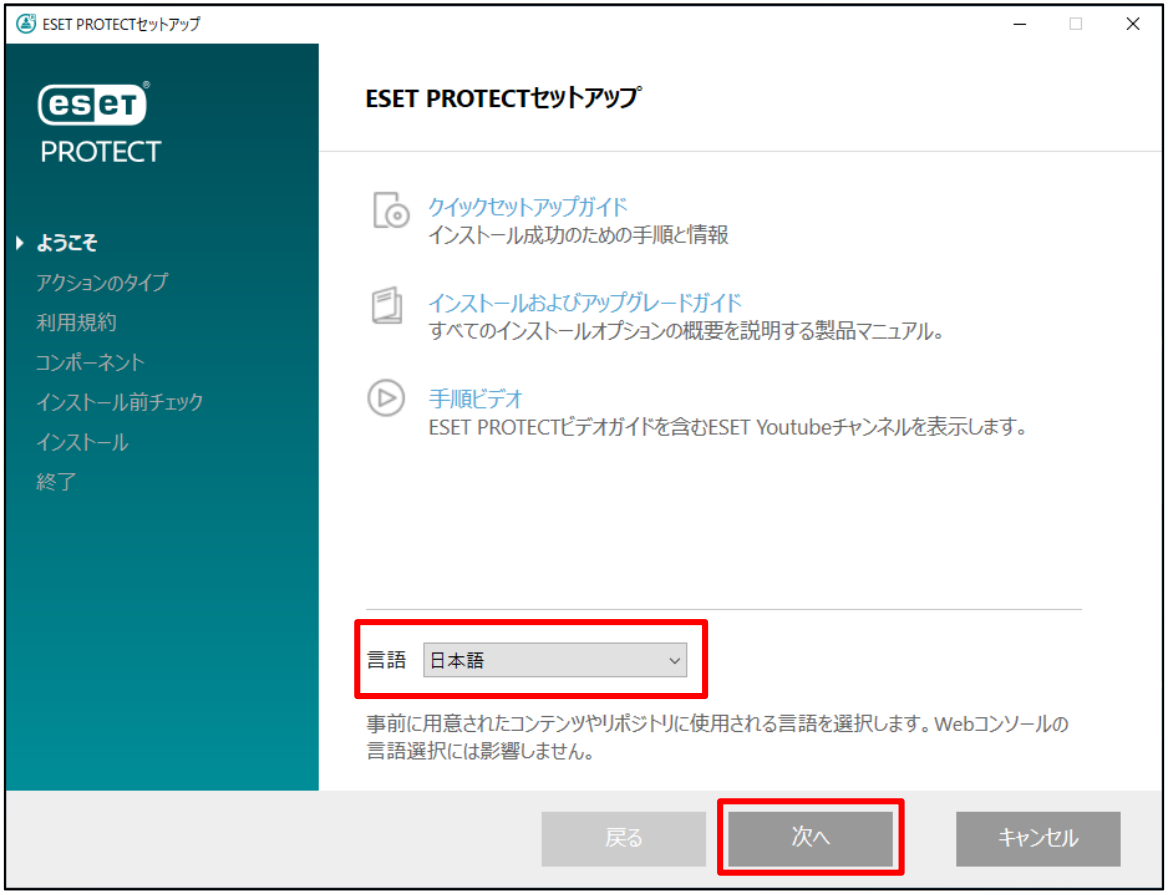
- 事前準備で用意した「Setup_x64.zip」を展開します。
- 「Setup.exe」をダブルクリックし、「ESET PROTECT」のオールインワンインストーラーを起動します。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。





2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

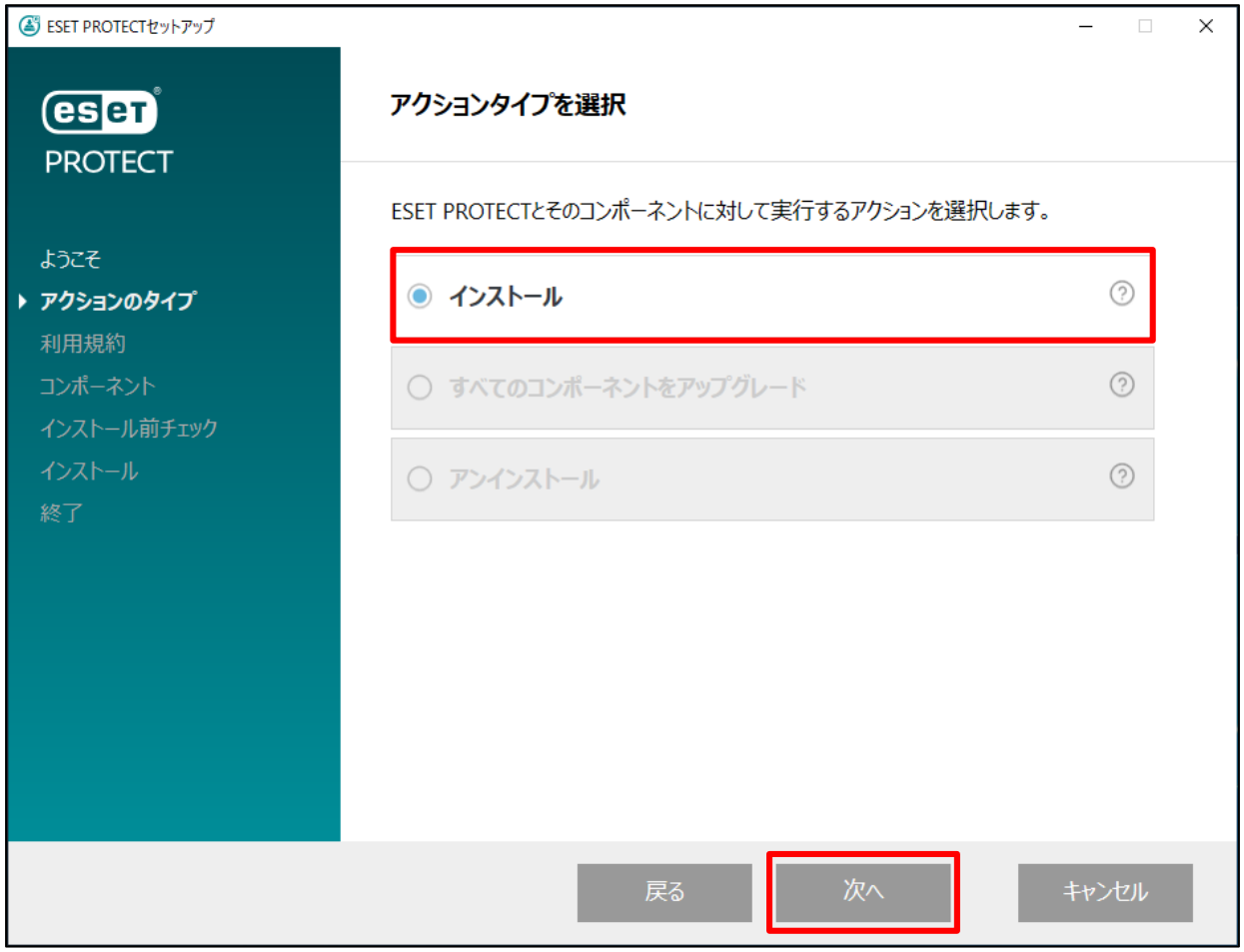
- ESET PROTECT セットアップが表示されましたら、言語を「日本語」にします。
- 「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

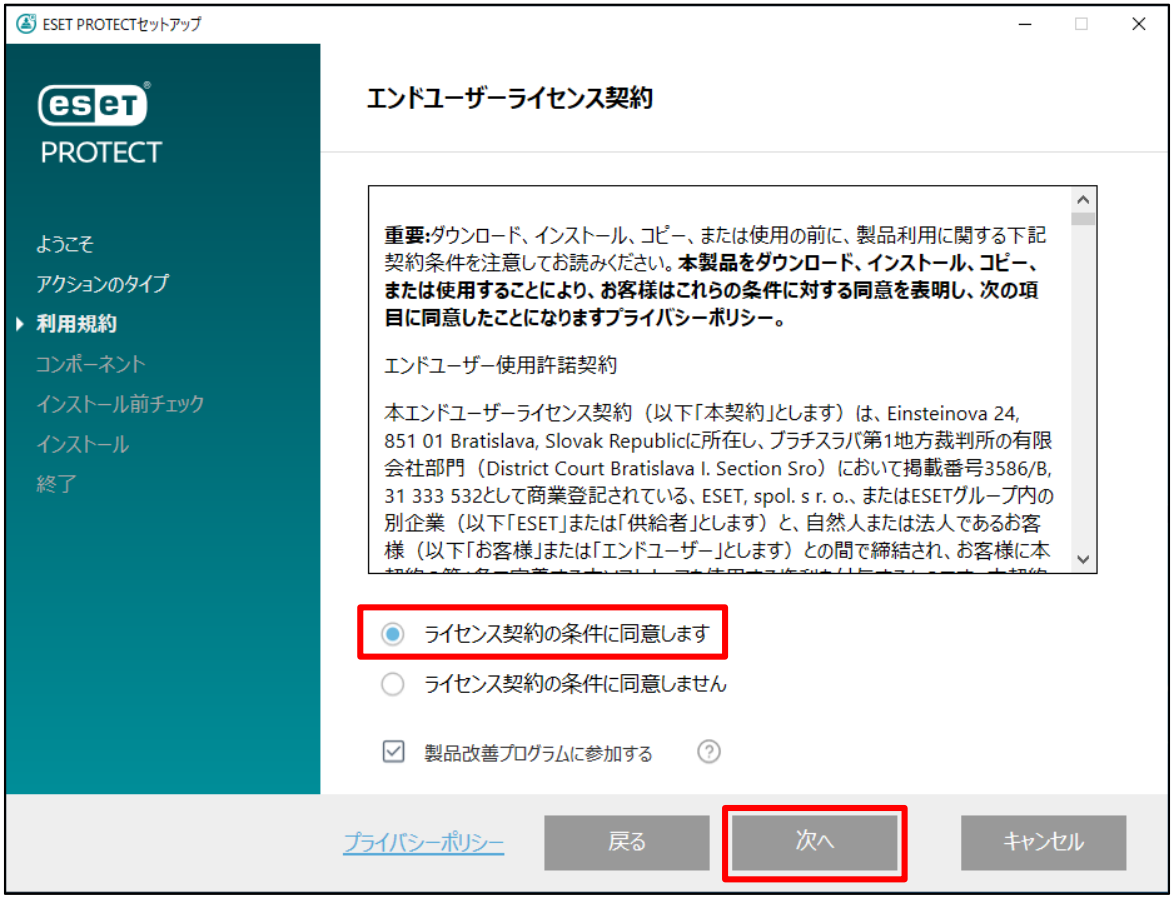
- 「インストール」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

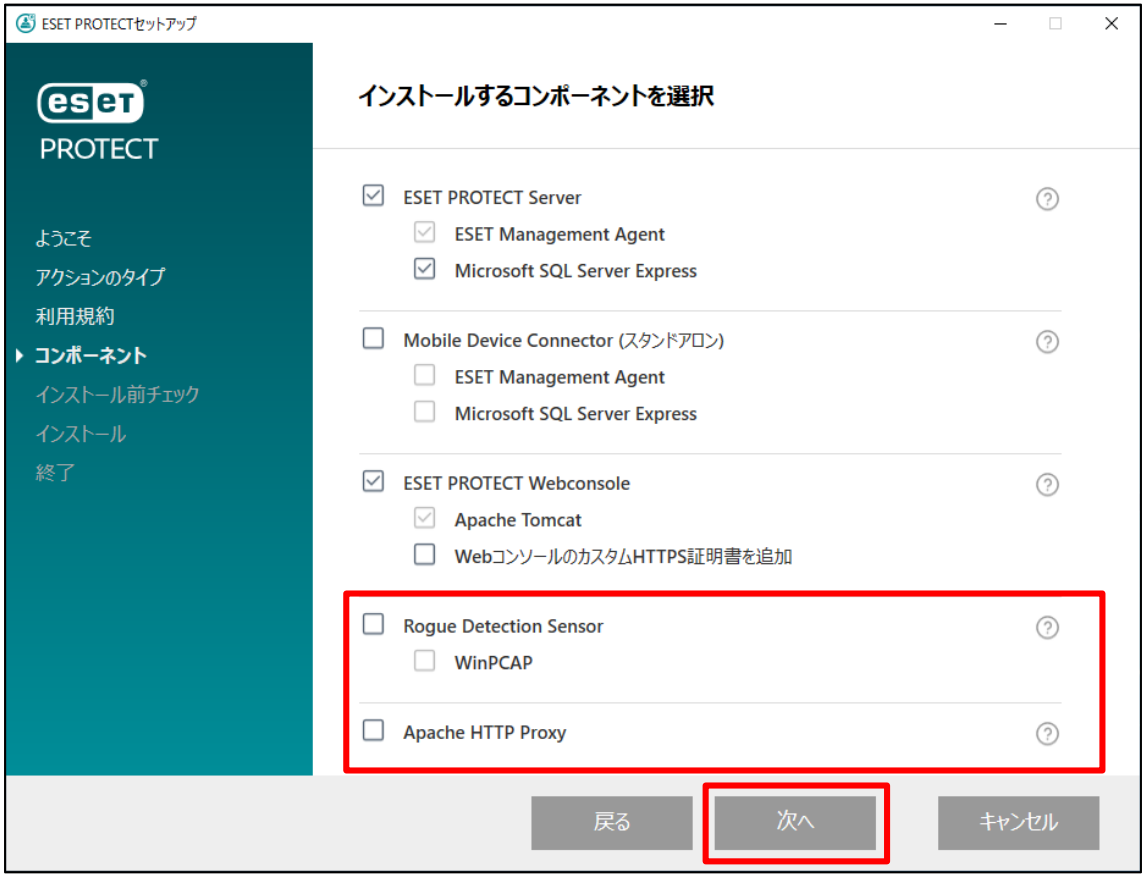
- エンドユーザーライセンス契約で「ライセンス契約の条件に同意します」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

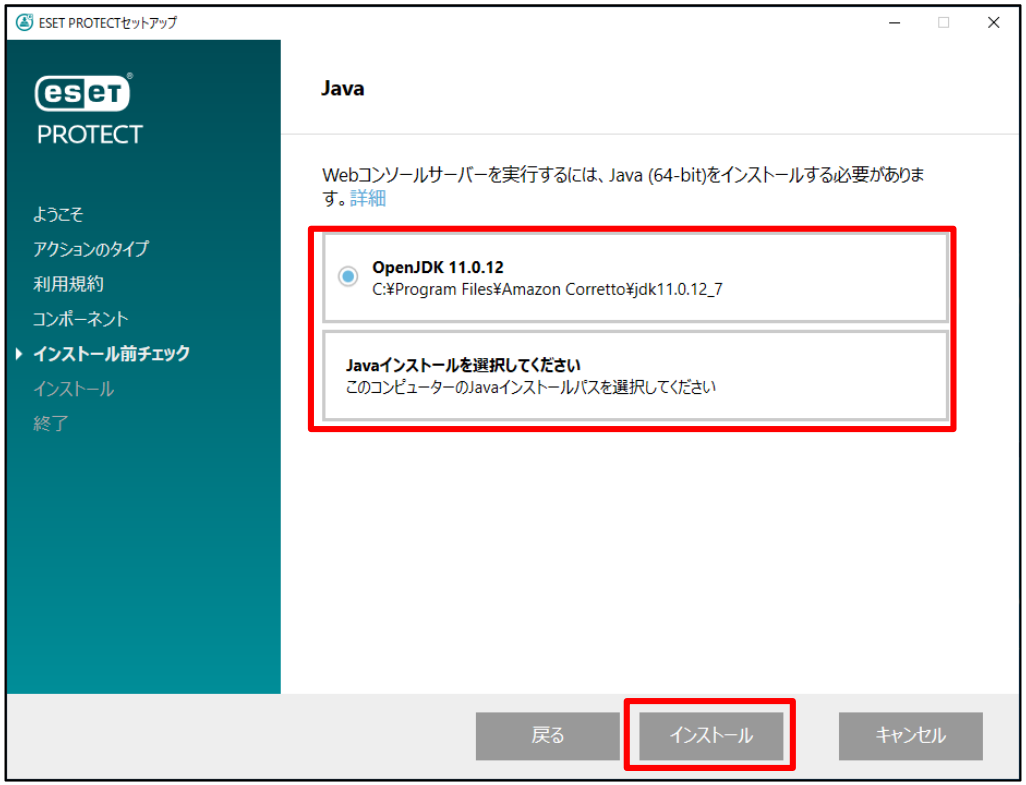
- 「Rogue Detection Sensor」と「Apache HTTP Proxy(ミラーサーバーの代用)」のチェックを外します。
- 「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

- Webコンソールで使用する64bit版のJavaを選択し、インストールをクリックします。
  ※Amazon Correttoのインストール方法については以下URLをご参照ください。

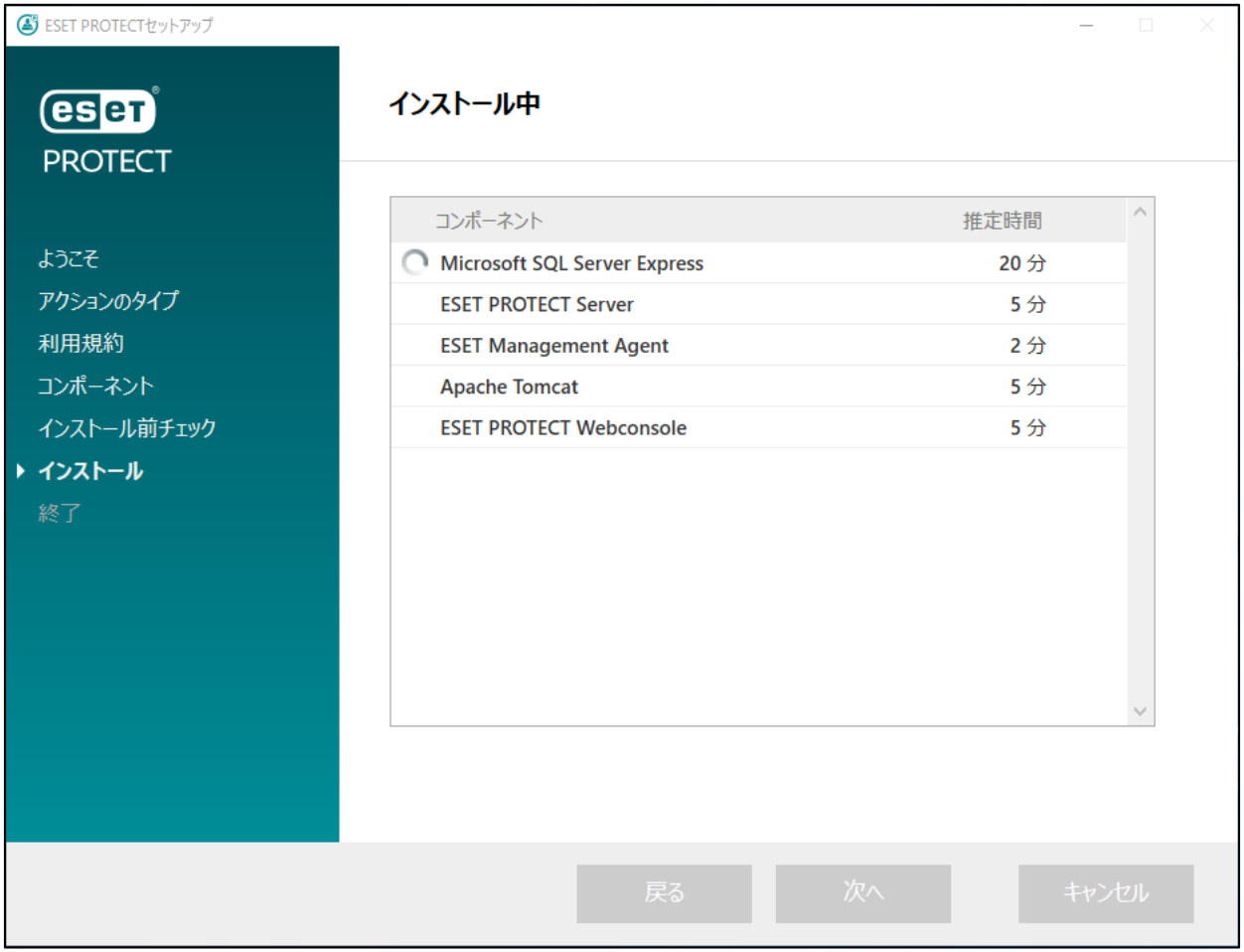


【構築手順】Windows Server環境で、オープンソースJDKを利用してセキュリティ管理ツールをインストールするには？
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business

※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

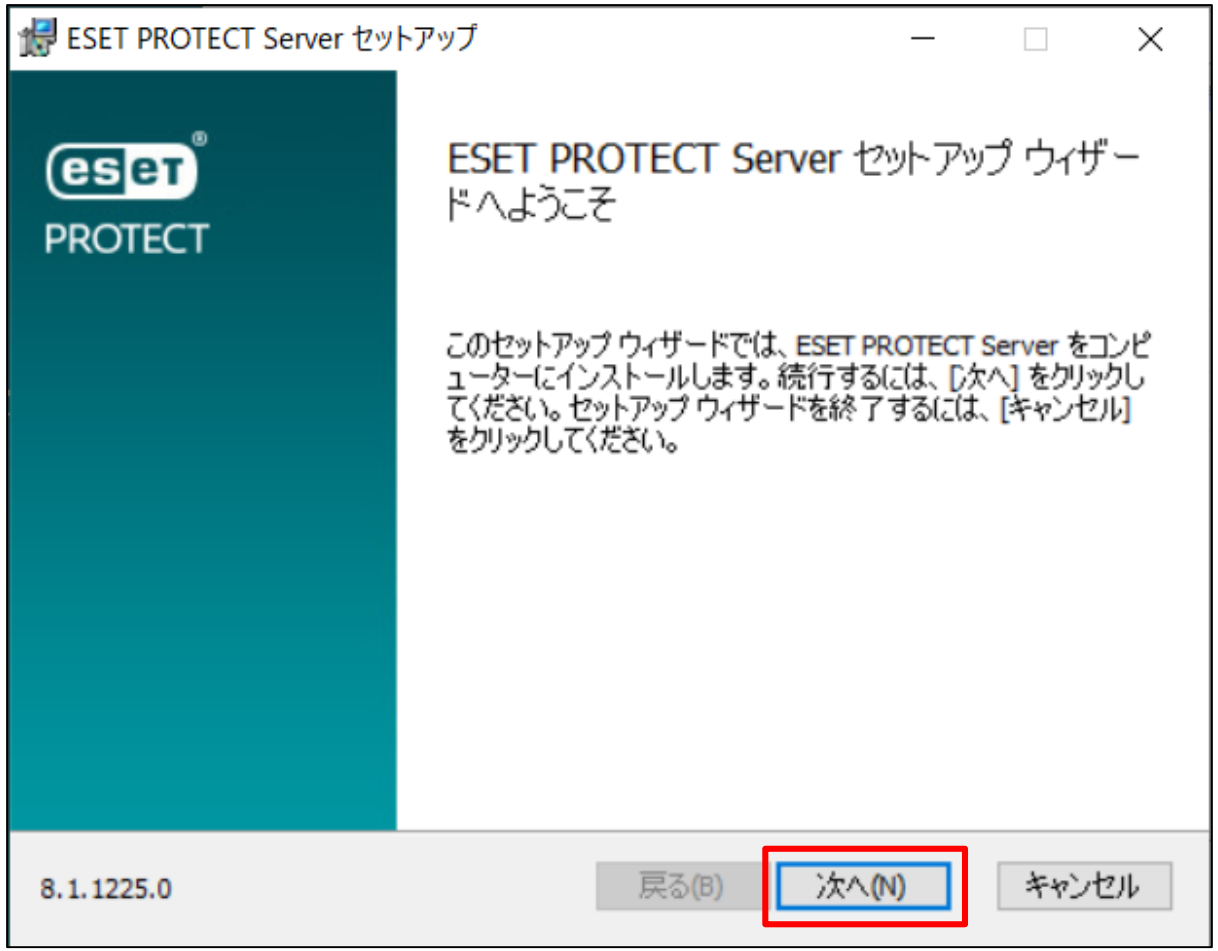
- インストールが始まると、以下の画面が表示されます。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

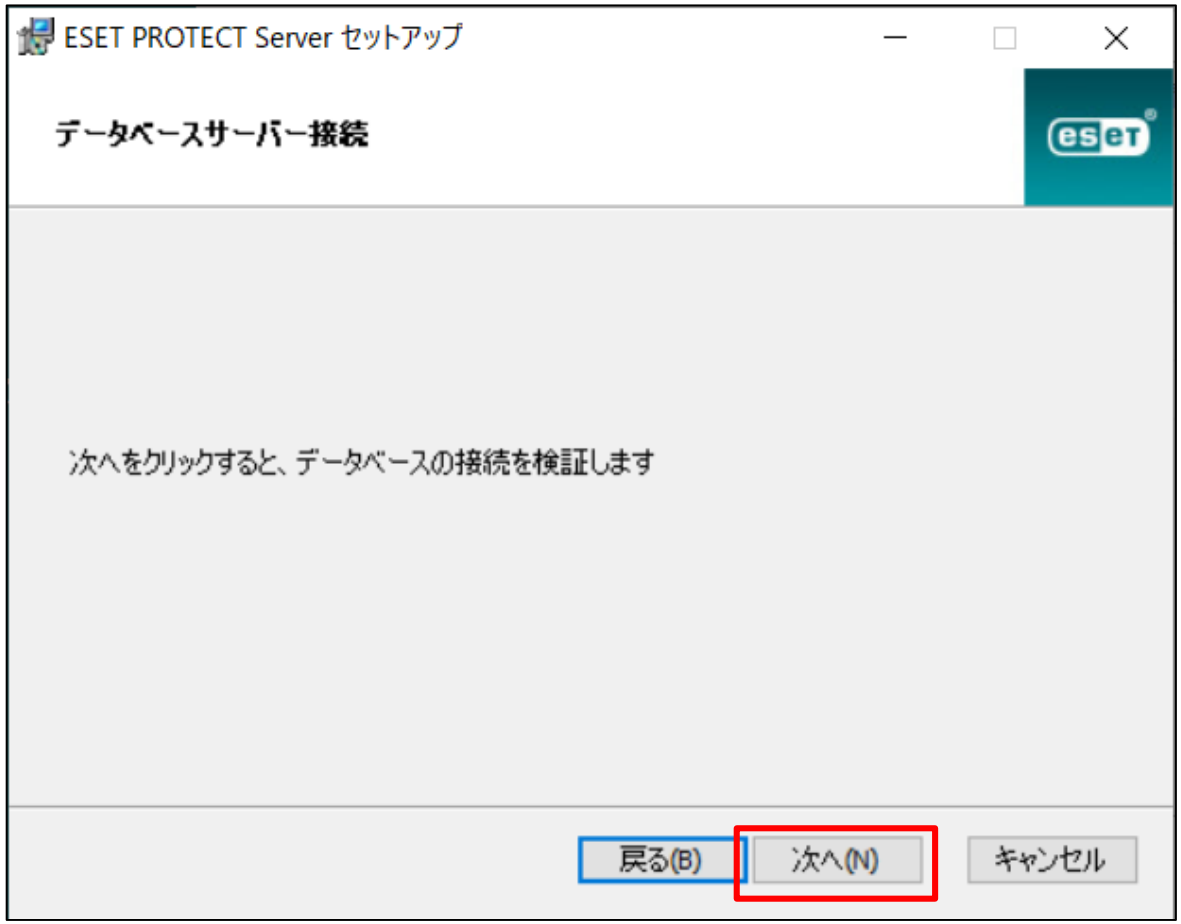
- ESET PROTECT セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

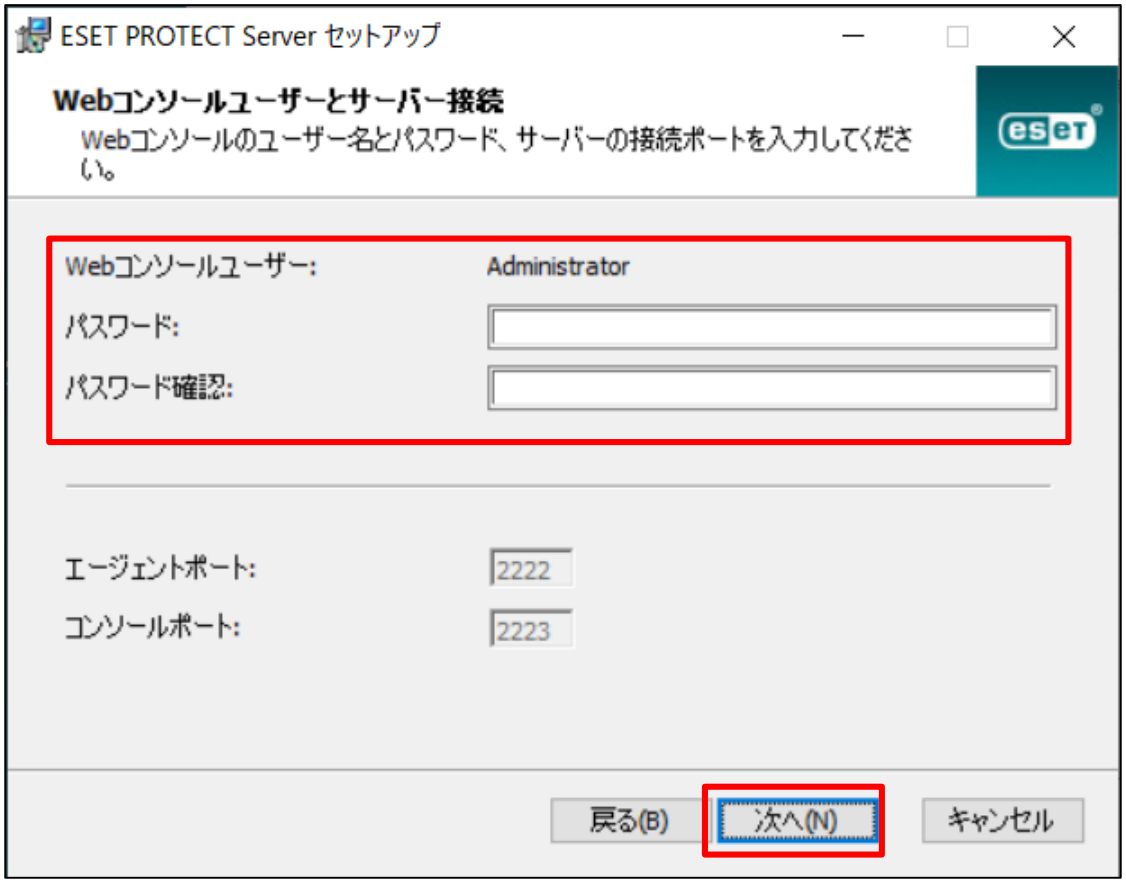
- データベースサーバー接続画面が表示されましたら、「次へ」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

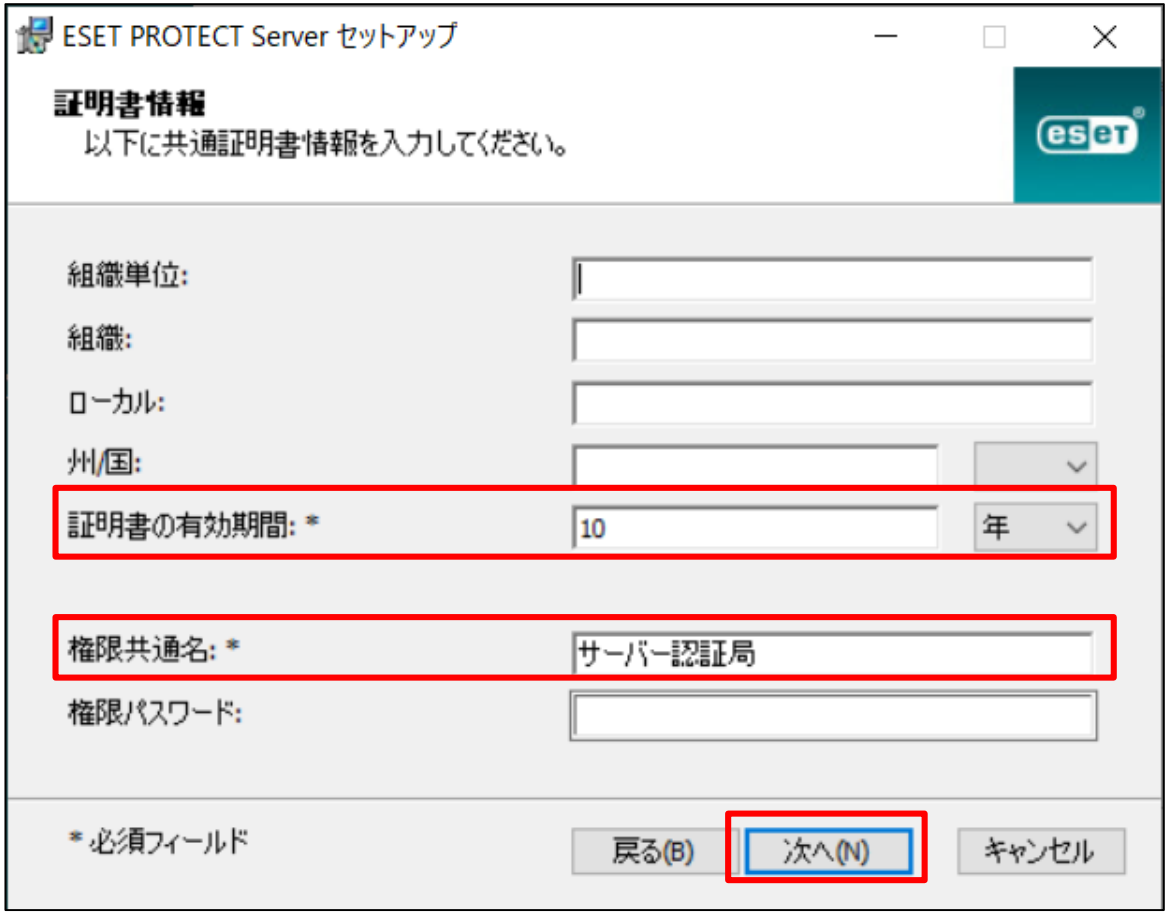
- Webコンソールユーザーとサーバー接続画面が表示されましたら、任意のパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
  ※ESET PROTECTのログインに利用します。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

- 証明書情報画面が表示されましたら、必須フィールドが入力されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



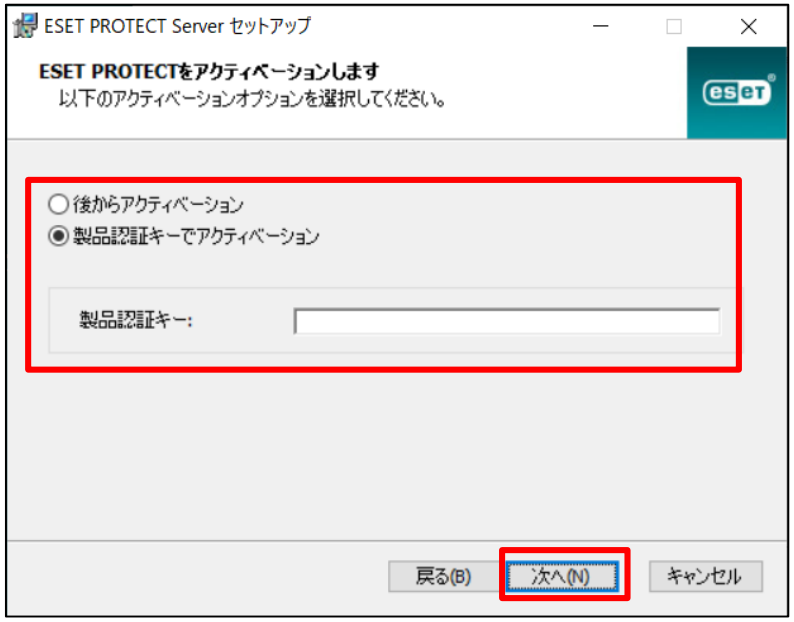
※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

- ESET PROTECTをアクティベーションします画面が表示されましたら、「製品認証キーでアクティベーション」にチェックをいれ「製品認証キー」を入力します。
- 「次へ」をクリックします。

※プロキシサーバー経由でインターネットに接続する環境の場合は、「後からアクティベーション」を選択のうえインストールを行い、以下を参考にプロキシ設定を行ってからアクティベーションを実施ください。

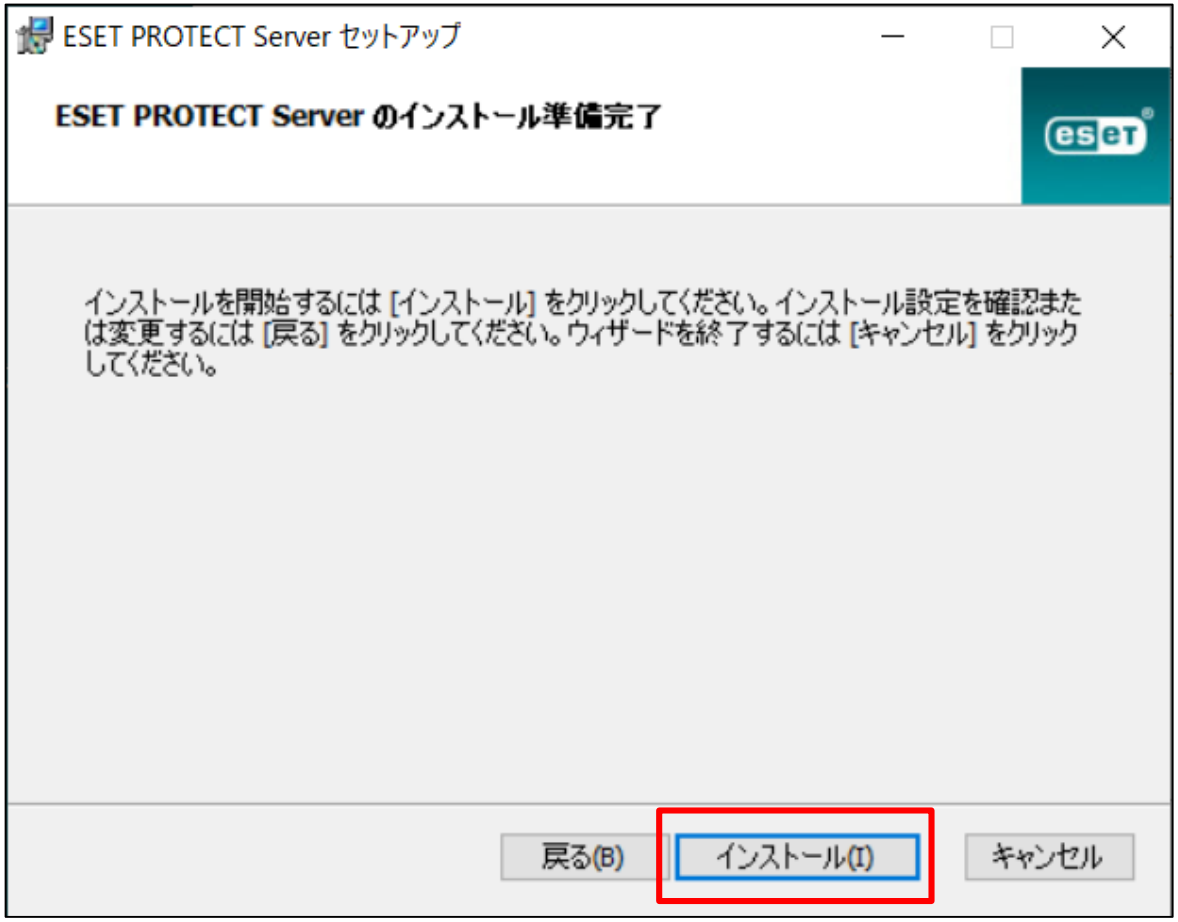
<プロキシサーバーの設定方法について>
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/158?site_domain=business
<セキュリティ管理ツールの製品のアクティベーションをおこなうには？>
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/17938?site_domain=business



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

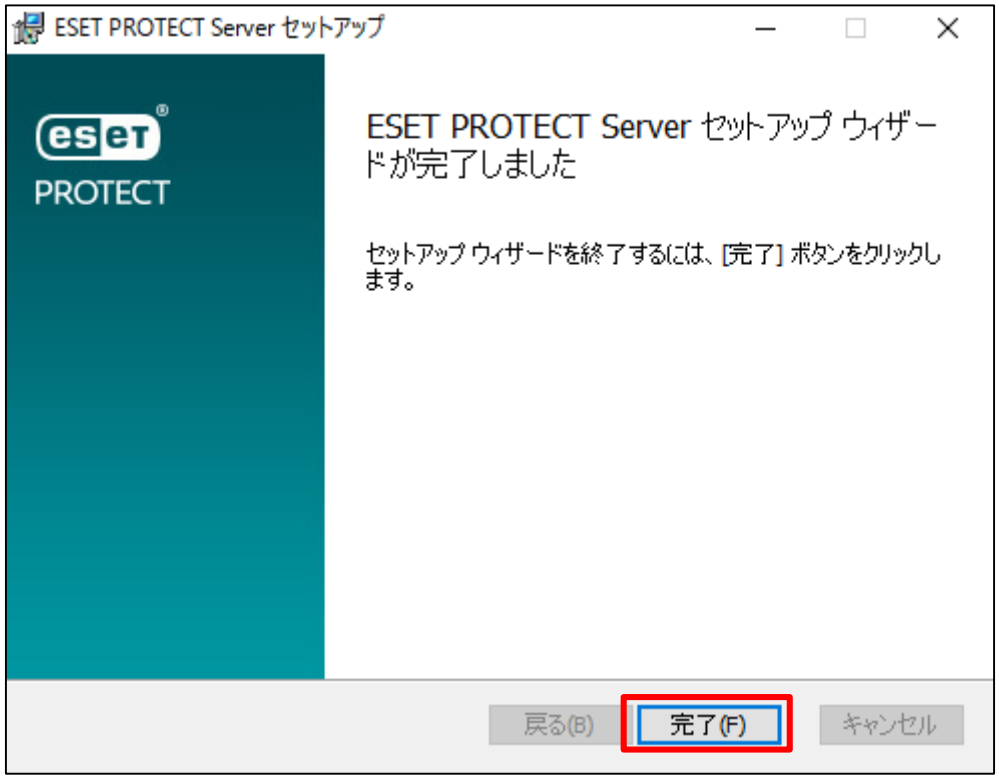
- 「インストール」をクリックし、インストールを開始します。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

- 「完了」をクリックします。

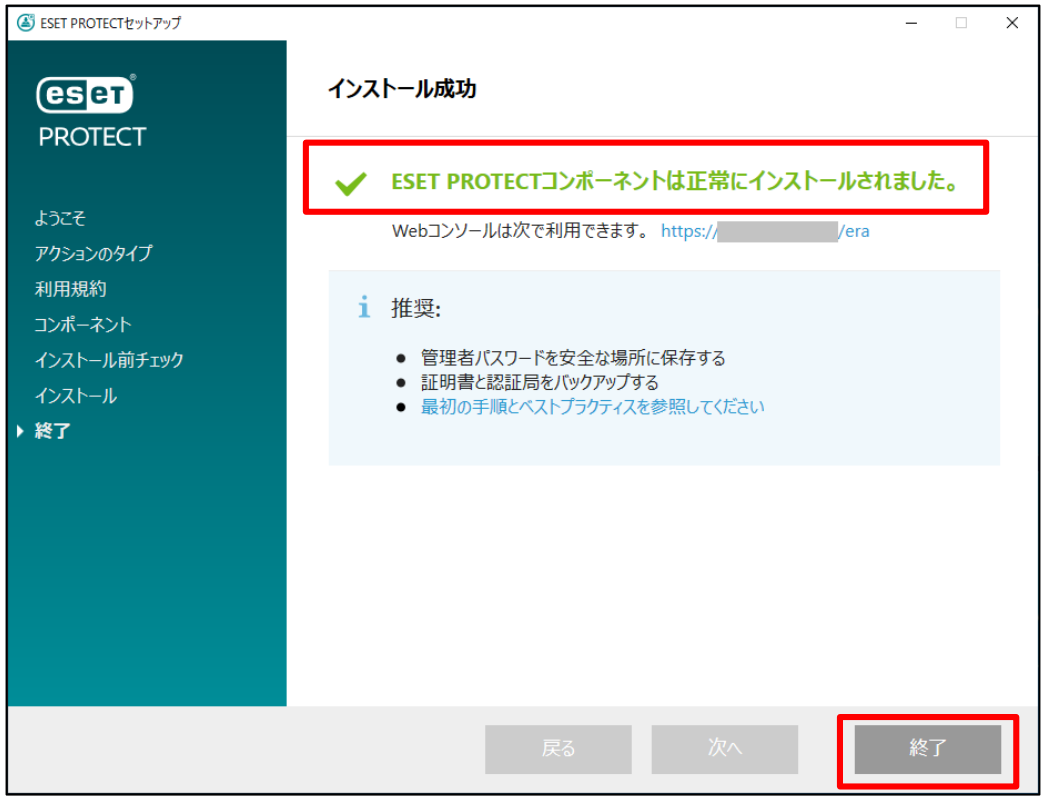


※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 サーバーの構築 – 管理サーバーの構築

- インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。Webコンソールのアドレスが表示されているのでご確認ください。
- 「終了」をクリックして、インストールを終了します。

以上で、「管理サーバーの構築」作業は完了です。

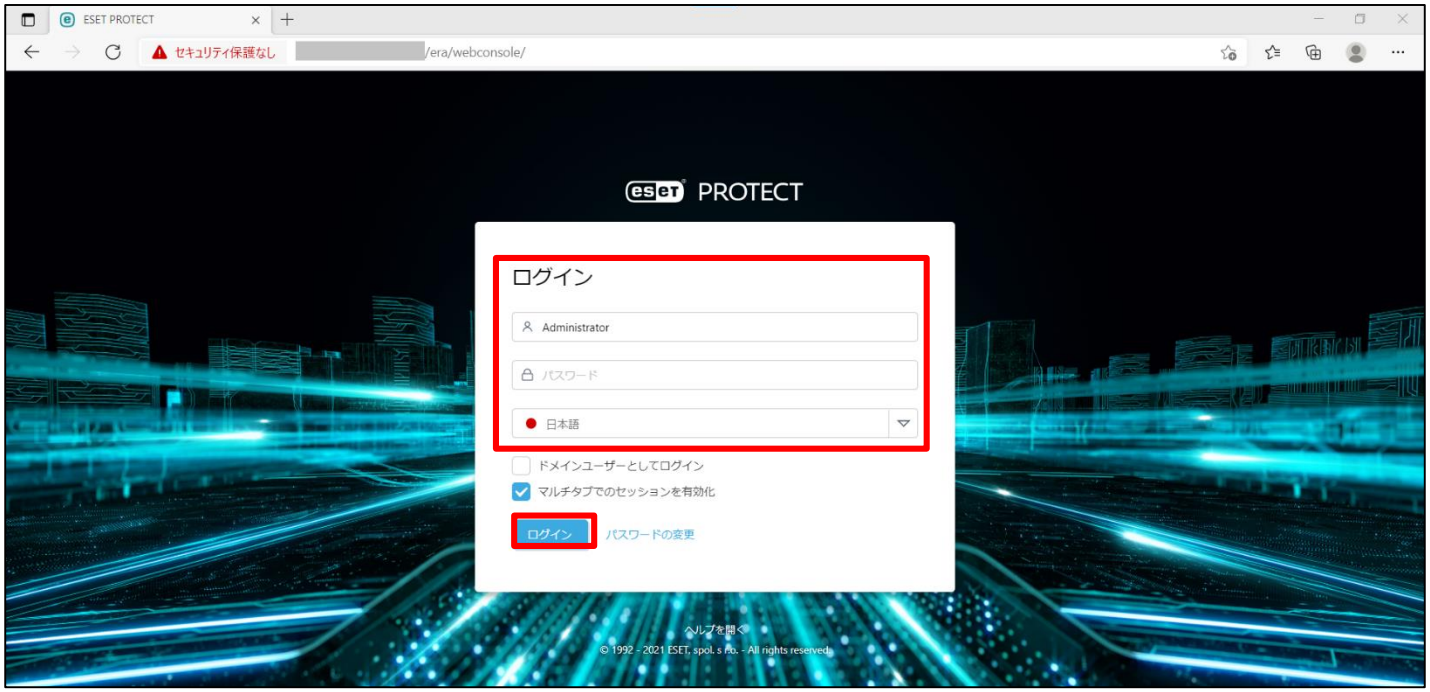


※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開
– ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

各クライアントが検出エンジンをアップデートする際に、ミラーサーバーに接続するポリシーを作成します。

- Webブラウザ(Google Chromeなど)を起動し、P.62で確認したアドレスを入力しWebコンソールにログインします。
- 言語を「日本語」に設定します。
- P.58で設定したパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



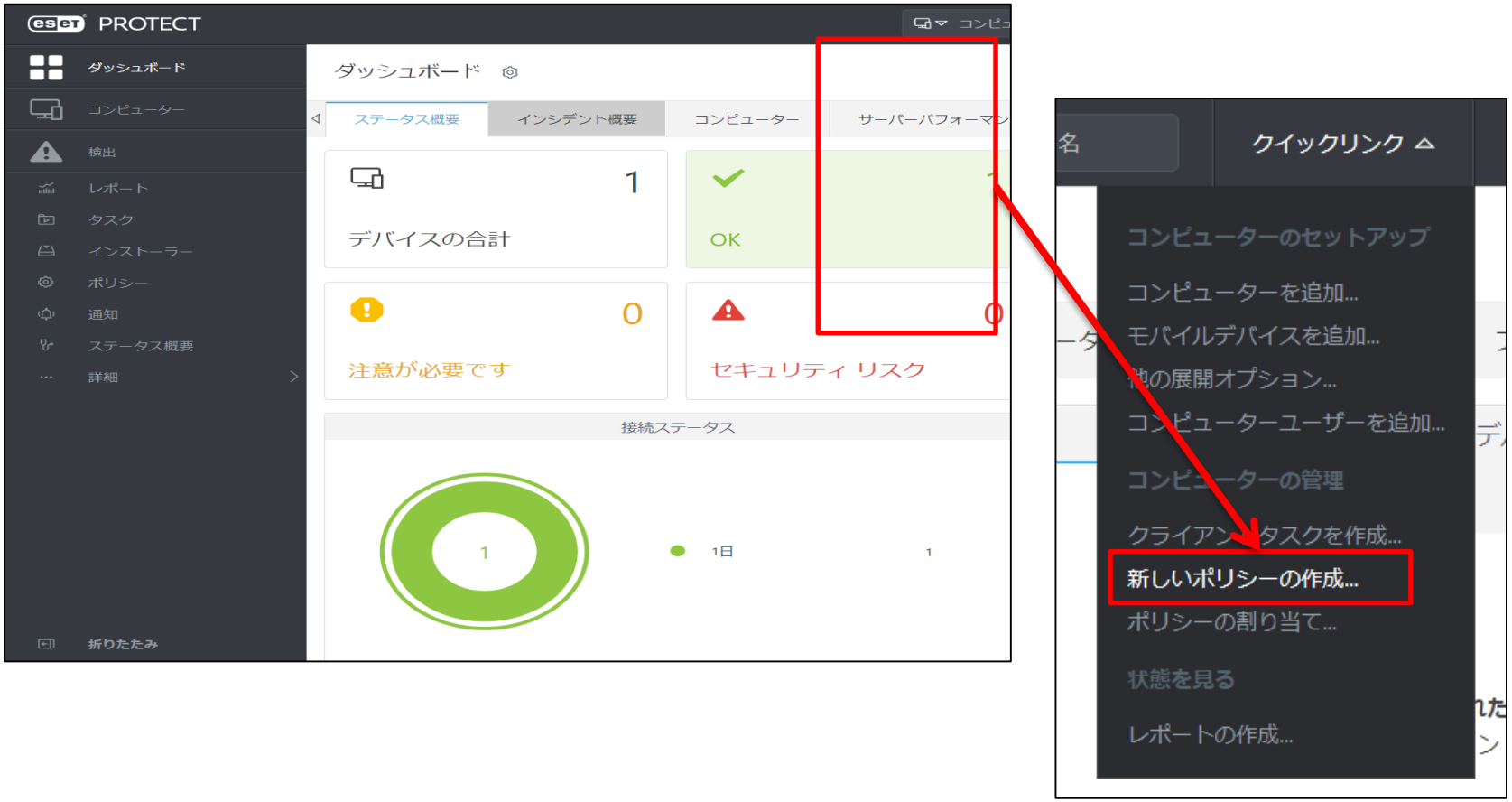
2 クライアントPCへの展開
– ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 以下のような画面が表示されたら「スタートアップウィザードを閉じる」で閉じてください。

※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

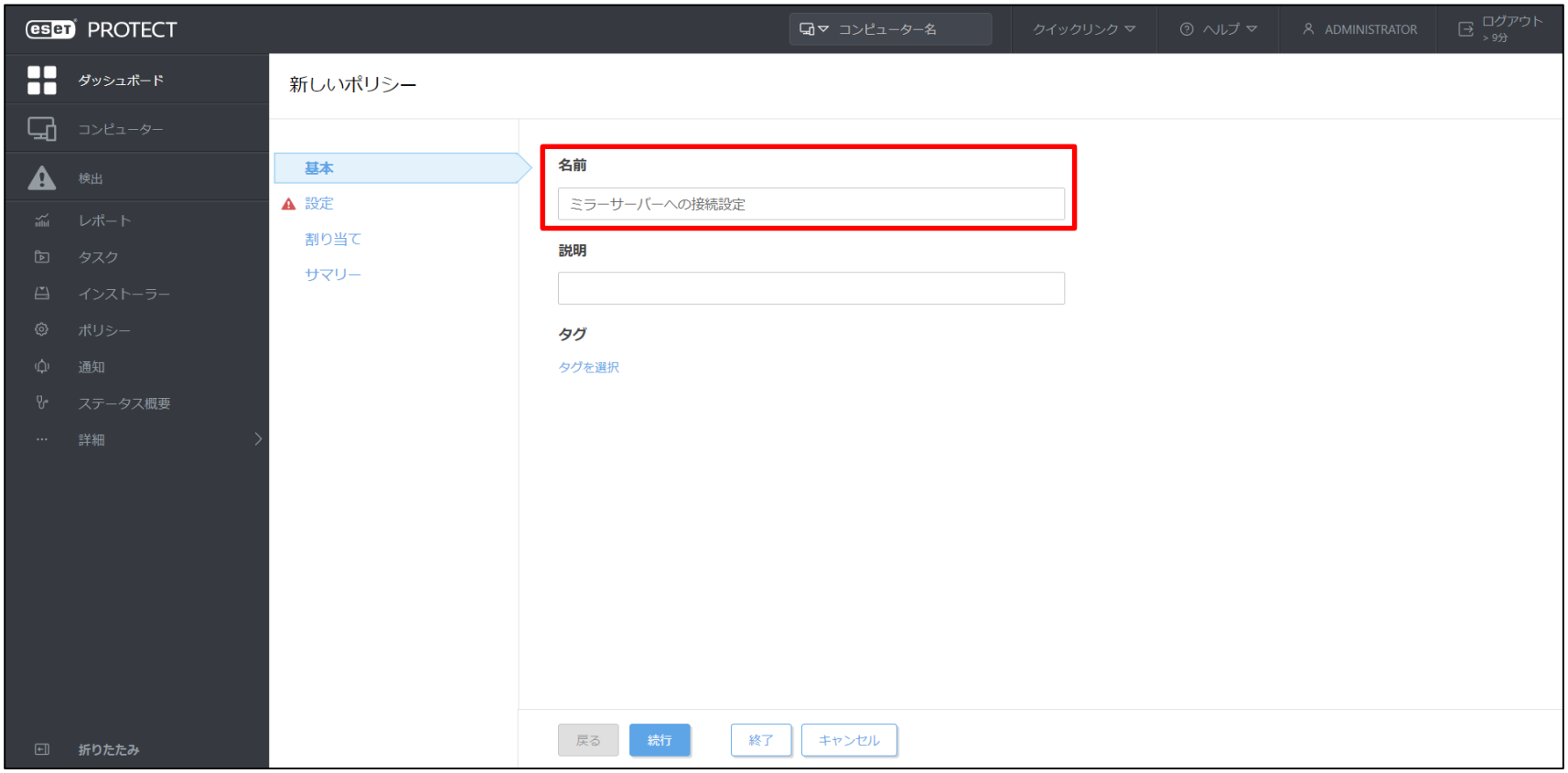
- 右上のクイックリンクの「新しいポリシーの作成」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開
– ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

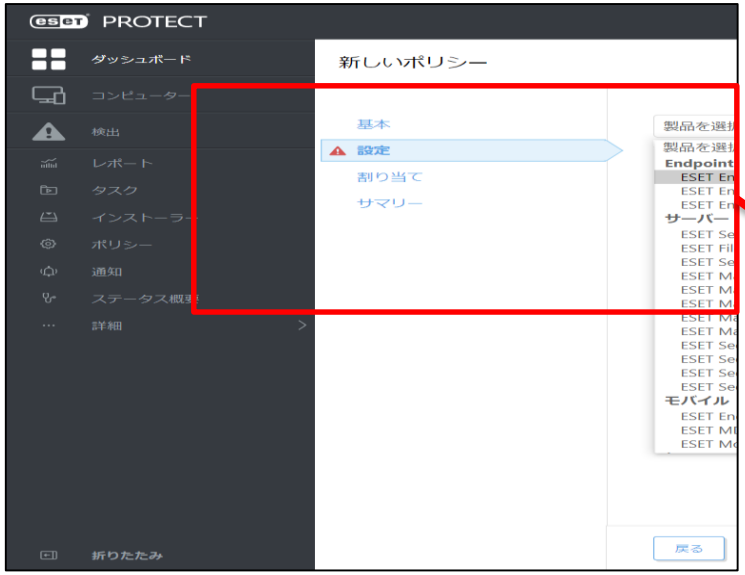
- 「名前」でポリシーの名前を入力します。
  ※説明の入力は任意です。

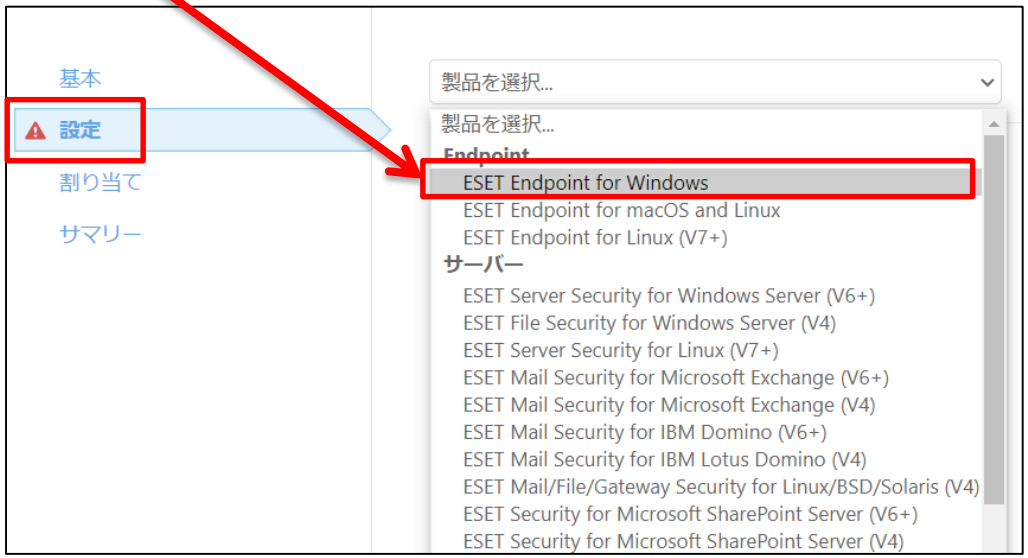


※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開
– ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 「設定」に移動します。
- 「製品を選択」で「ESET Endpoint for Windows」を選択します。





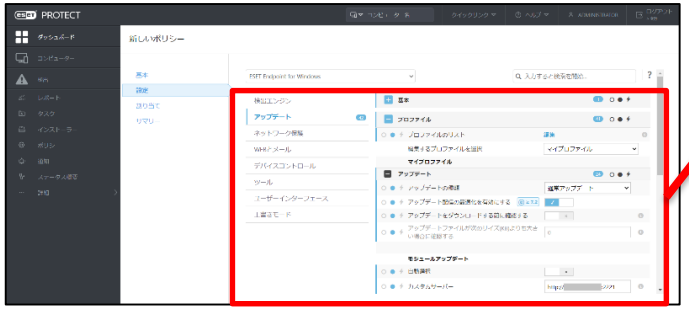
※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開
– ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックし、「モジュールアップデート」→「自動選択」をオフにします。
- 「カスタムサーバー」に「http://ミラー端末のIPアドレス:2221」を入力します。

※プロキシサーバー経由でインターネットに接続する環境の場合は、以下の項目も入力します。

「ツール」→「プロキシサーバ」より、「プロキシサーバを使用」にチェックを入れ、プロキシサーバーのIPアドレスやポートを入力。

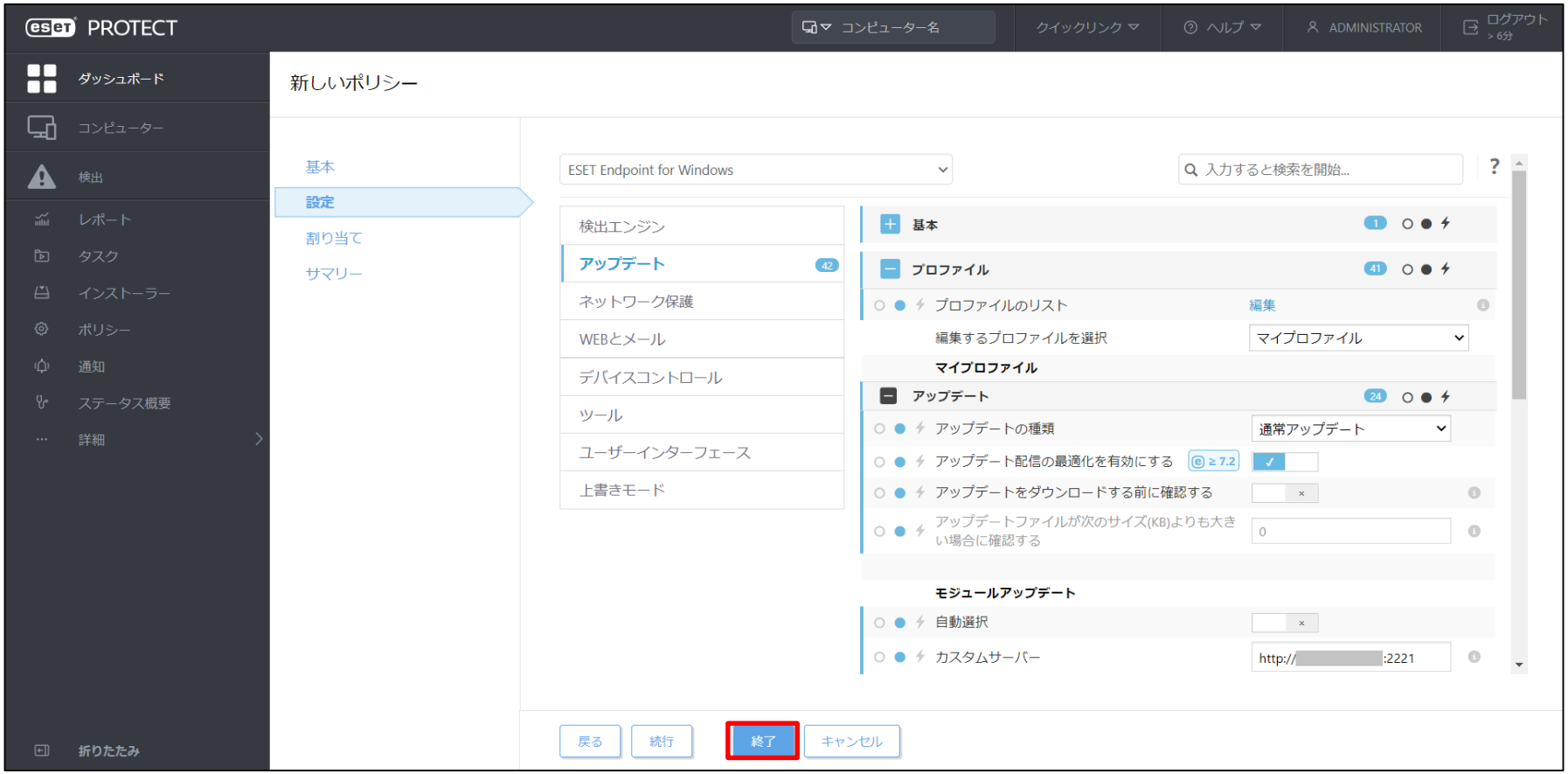


※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開
– ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 「終了」をクリックします。

以上で、「ミラーサーバーに接続するポリシーの作成」作業は完了です。

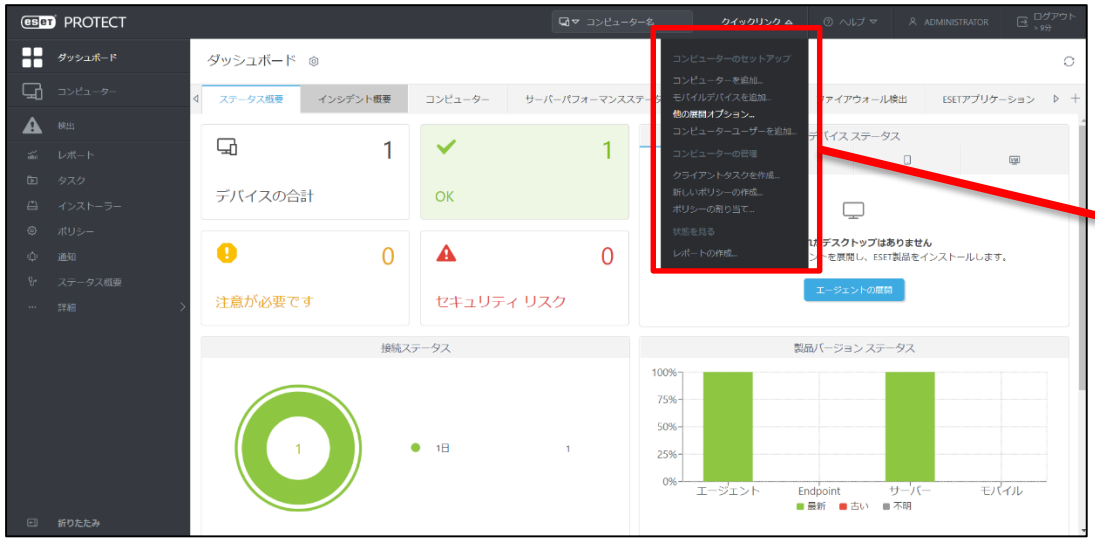


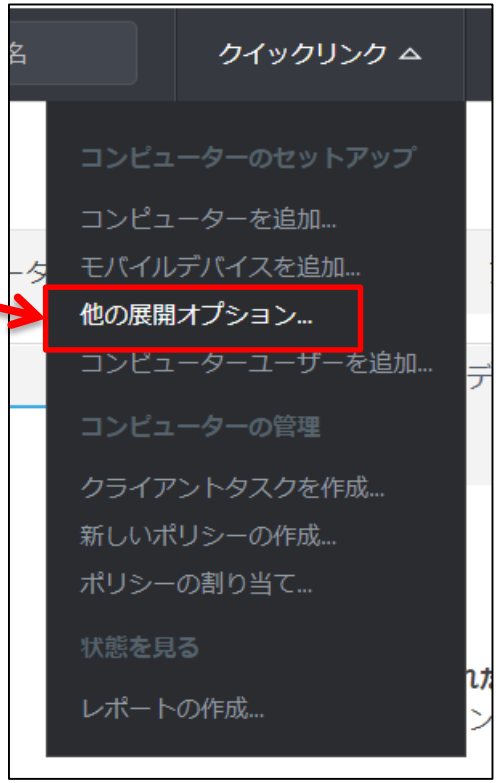
※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

クライアントPCへ展開するためのオールインワンインストーラーを作成します。

- 右上のクイックリンクの「他の展開オプション」をクリックします。

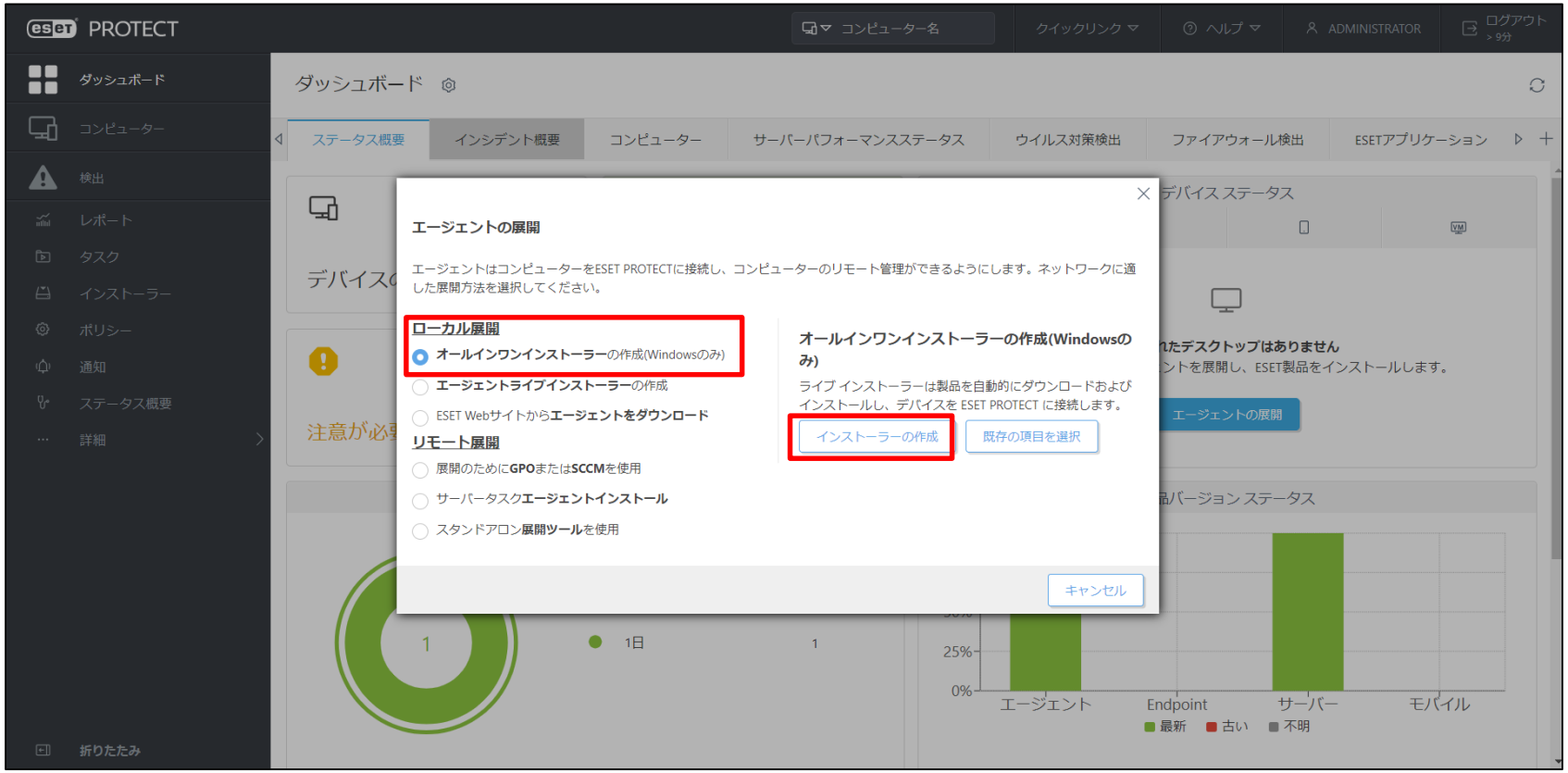




※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

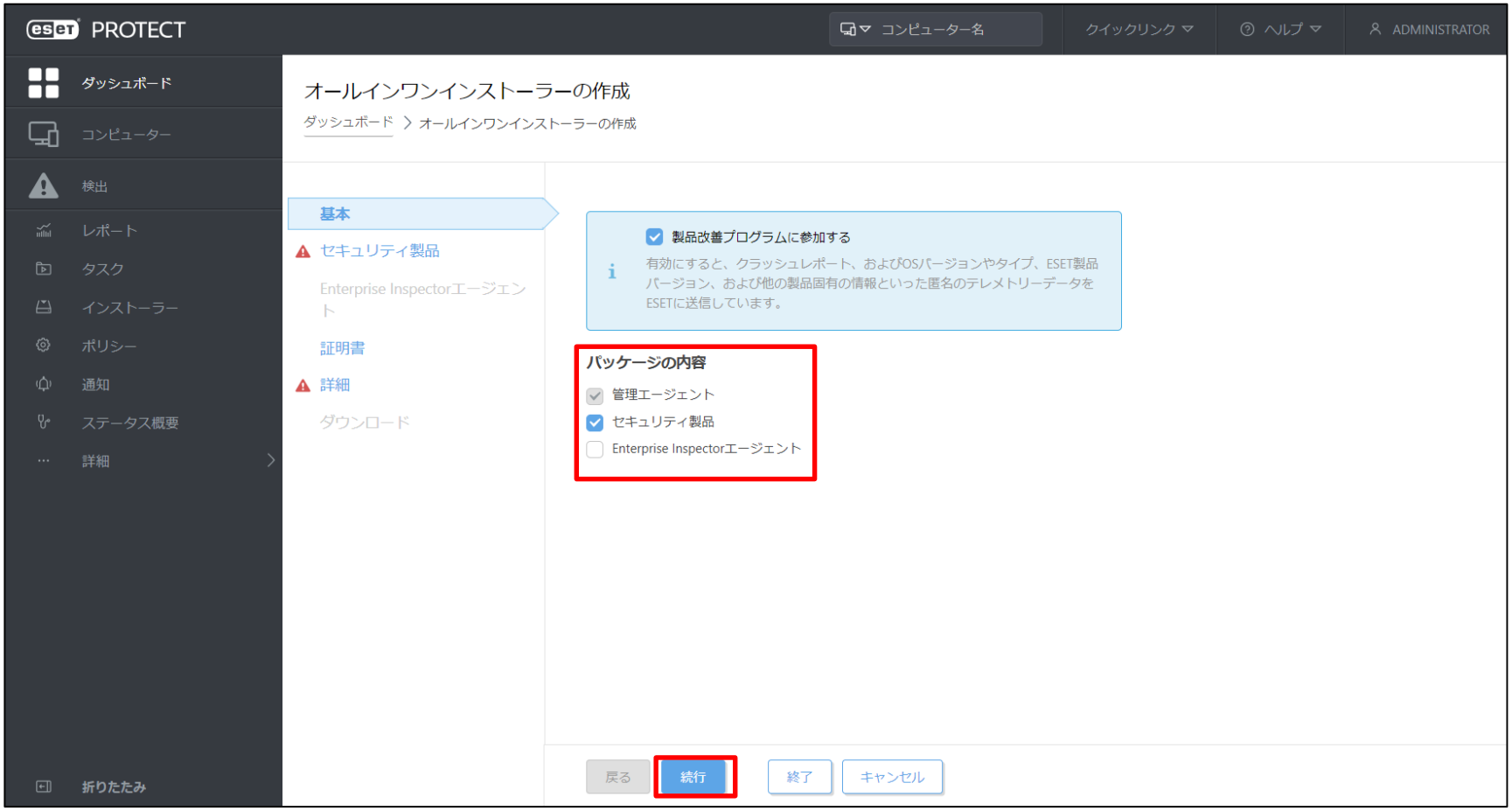
- 「オールインワンインストーラーを作成(Windowsのみ)」を選択し、「インストーラーの作成」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- パッケージの内容で、「セキュリティ製品」を選択し、「続行」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- ライセンスにライセンスが登録されていることを確認し、「製品/バージョン」よりインストールしたい製品を選択し、「OK」をクリックします。

＜注意＞

「製品/バージョン」で選択する製品は、お客様のご利用されているライセンスに合わせた製品を選択します。

・ESET Endpoint Antivirus + ESET Server Security(ESET File Security)：
ESET Endpoint Antivirusを選択します。

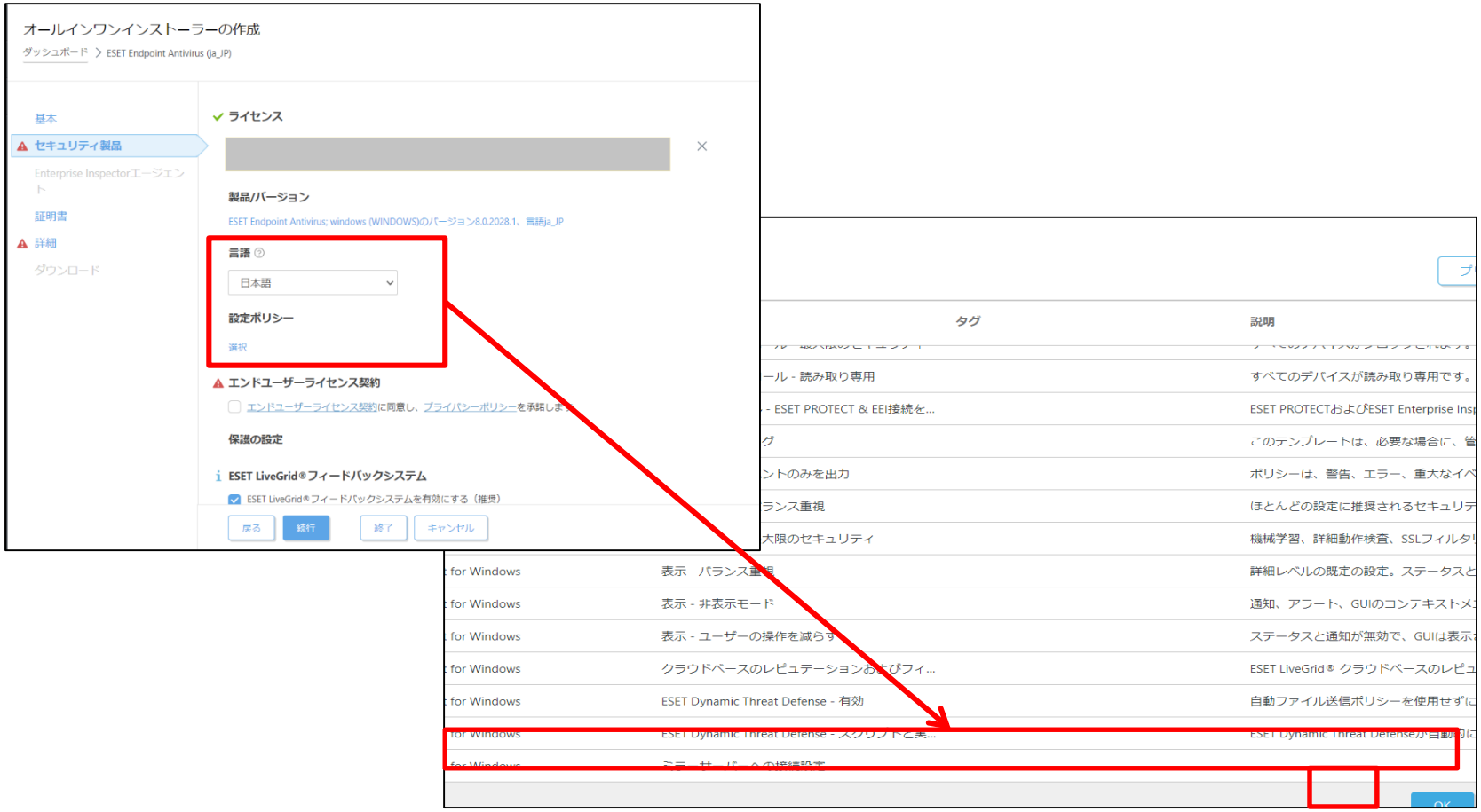
・ESET Endpoint Security + ESET Server Security(ESET File Security)：
ESET Endpoint Security、またはESET Endpoint Antivirusを選択します。

※製品選択を間違えないようにご注意ください。環境にあった最新のプログラムを選択してください。

※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- 言語は「日本語」を選択します。
- 「設定ポリシー」より、「ミラーサーバーに接続するポリシーの作成」作業で作成したポリシーを選択し、「OK」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

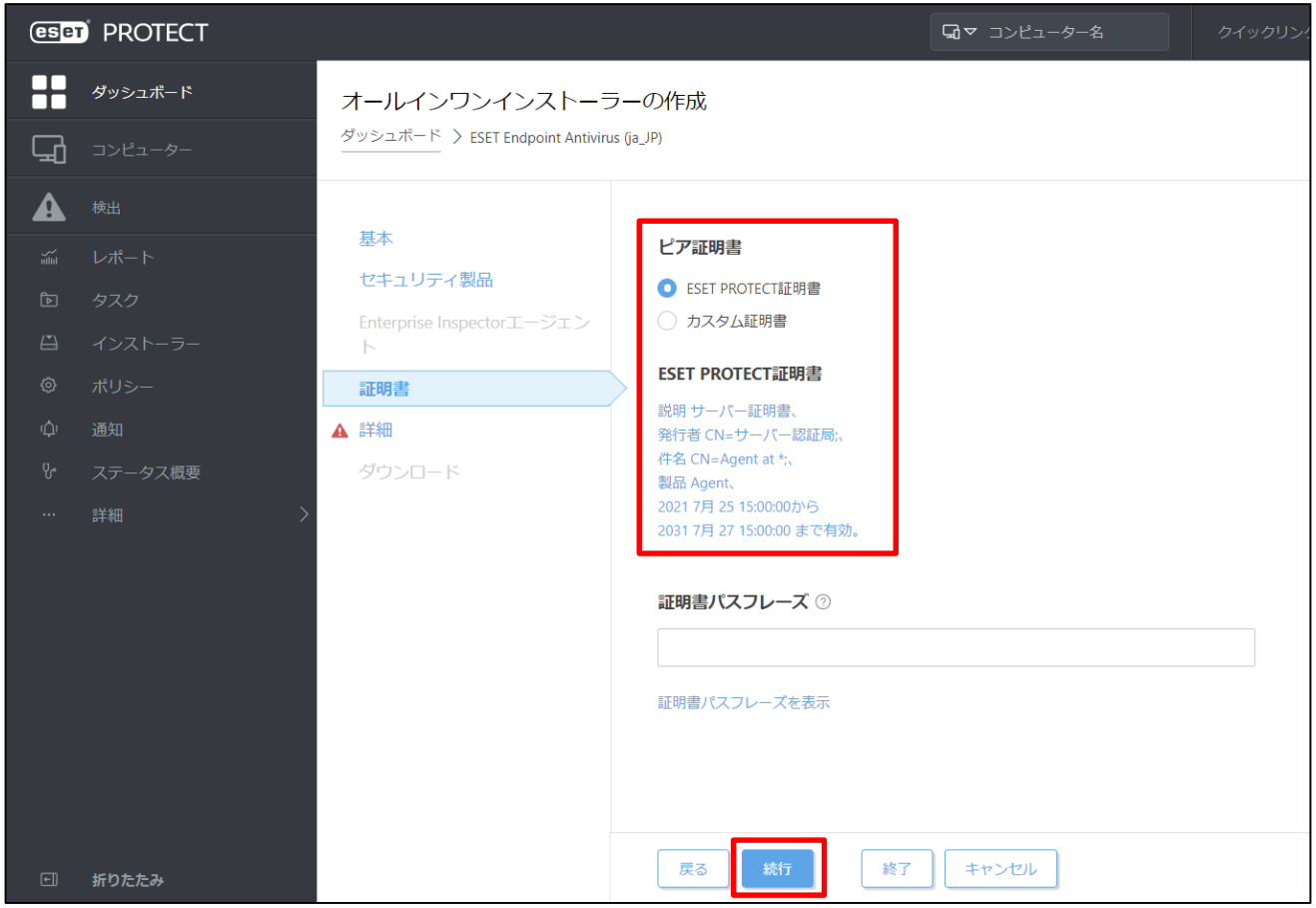
2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」にチェックを入れ、「続行」をクリックします。

※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- 「ピア証明書」でESET PROTECT証明書を選択し、「ESET PROTECT証明書」に証明書が登録されていることを確認します。
- 確認が完了したら、「続行」をクリックします。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

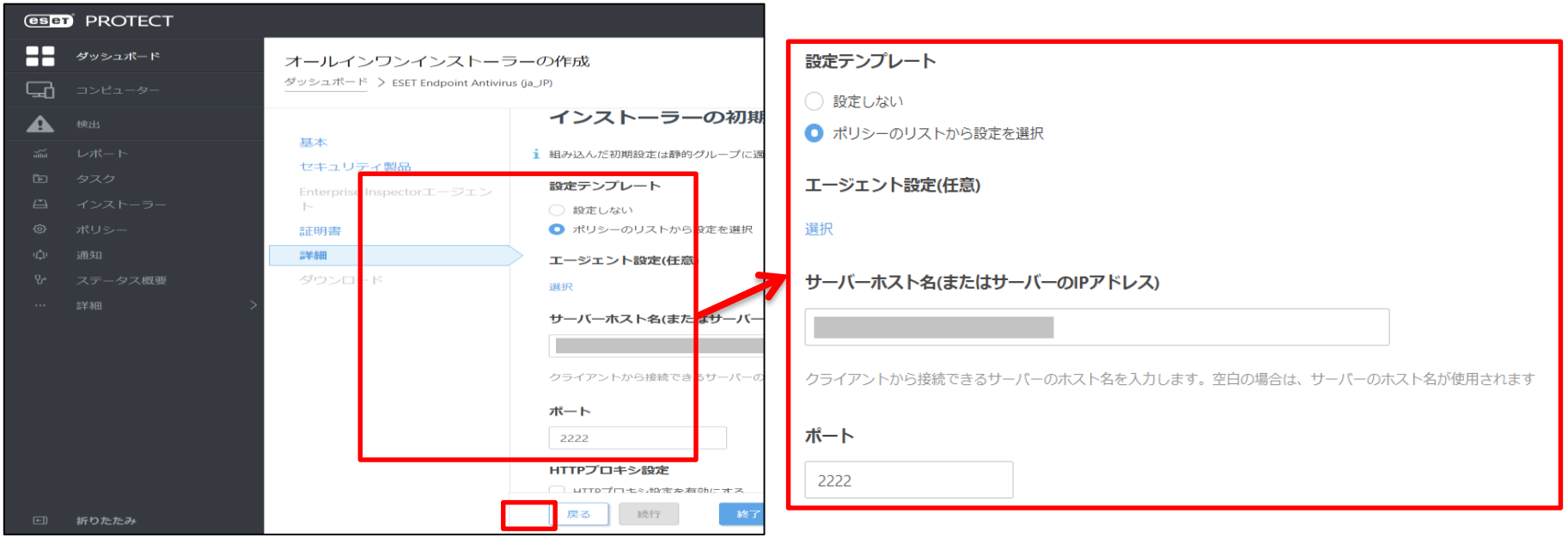
2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- 「名前」でオールインワンインストーラーの名前を入力します。
  ※説明の入力は任意です。
- 「ESET AV Removerを有効にする」に**チェックが入っていない**ことを確認します。チェックが入っていた場合は外してください。
- 「親グループ(任意)」を選択すると、インストール直後にクライアントが所属する静的グループを選択することができます。
  ※既定では「LOST+FOUND」グループに所属します。

※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- 「サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)」で、管理サーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
  ※ホスト名を入力した場合は、クライアント側で名前解決出来る必要があります。
- 「ポート」でポート番号が「2222」になっていることを確認します。
- 「HTTPプロキシ設定」はご利用のネットワーク環境に応じて設定します。
  ※クライアントとEP間や、クライアントとインターネット間の通信でプロキシをご利用の場合は、別途エージェント用のポリシーを作成します。
  ※作成したポリシーは、「設定テンプレート」の「ポリシーのリストから設定を選択」より選択します。



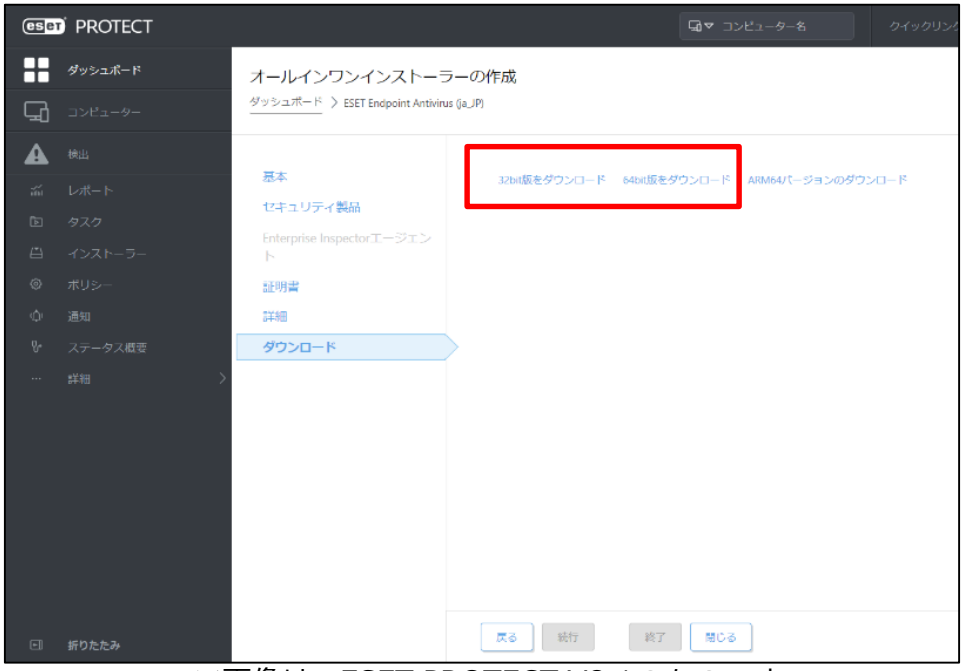
※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- インストールするクライアント端末の環境にあわせて、「32bit版をダウンロード」または「64bit版をダウンロード」をクリックします。ファイルの保存を促す画面が表示されましたら、任意のファイル名(※)、任意の保存先を指定してインストーラーを保存します。

  ※ファイル名には、32bit用の場合は「x86」、64bit用の場合は「x64」を必ず含めてください。

  ※バージョン8の各プログラムは「ARM64」に未対応であるため選択しないようご注意ください。

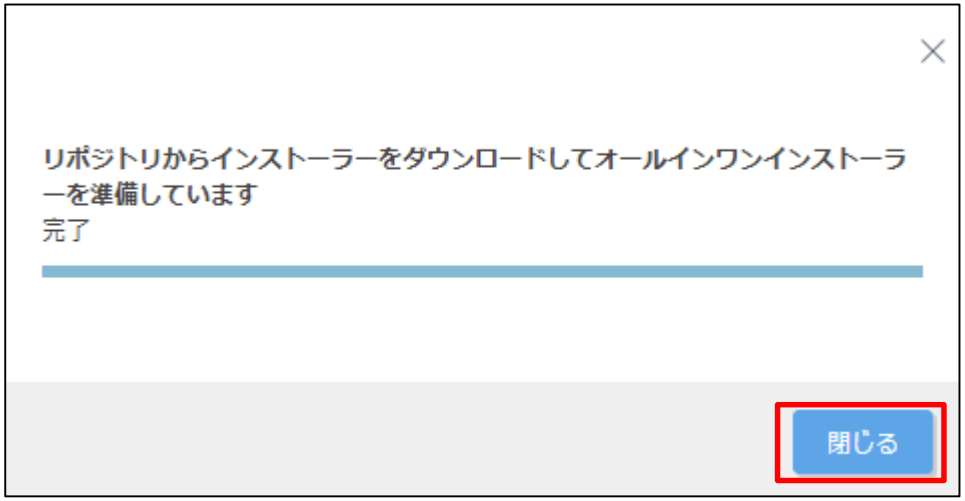


※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの作成

- ダウンロードが完了しましたら、「閉じる」をクリックします。
- 指定した保存先にインストーラーが保存されていることを確認します。

以上で、「オールインワンインストーラーの作成」作業は完了です。



※画像は、ESET PROTECT V8.1のものです。

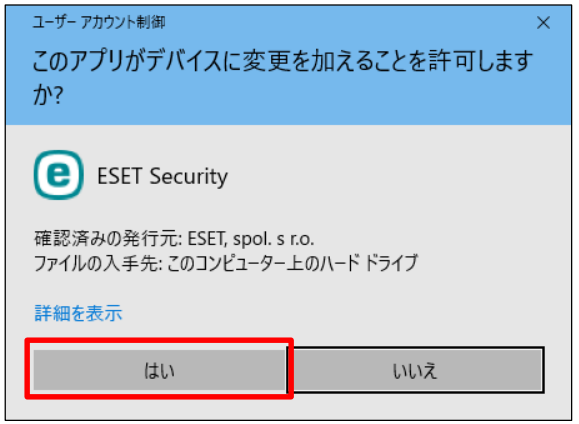
2 クライアントPCへの展開
– オールインワンインストーラーの実行

作成したオールインワンインストーラーをクライアント側で実行し、クライアント用プログラムとEMエージェントをインストールします。

- 作成したオールインワンインストーラーを各端末のデスクトップなどにコピーします。
- オールインワンインストーラーをダブルクリックしインストーラーを起動させます。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

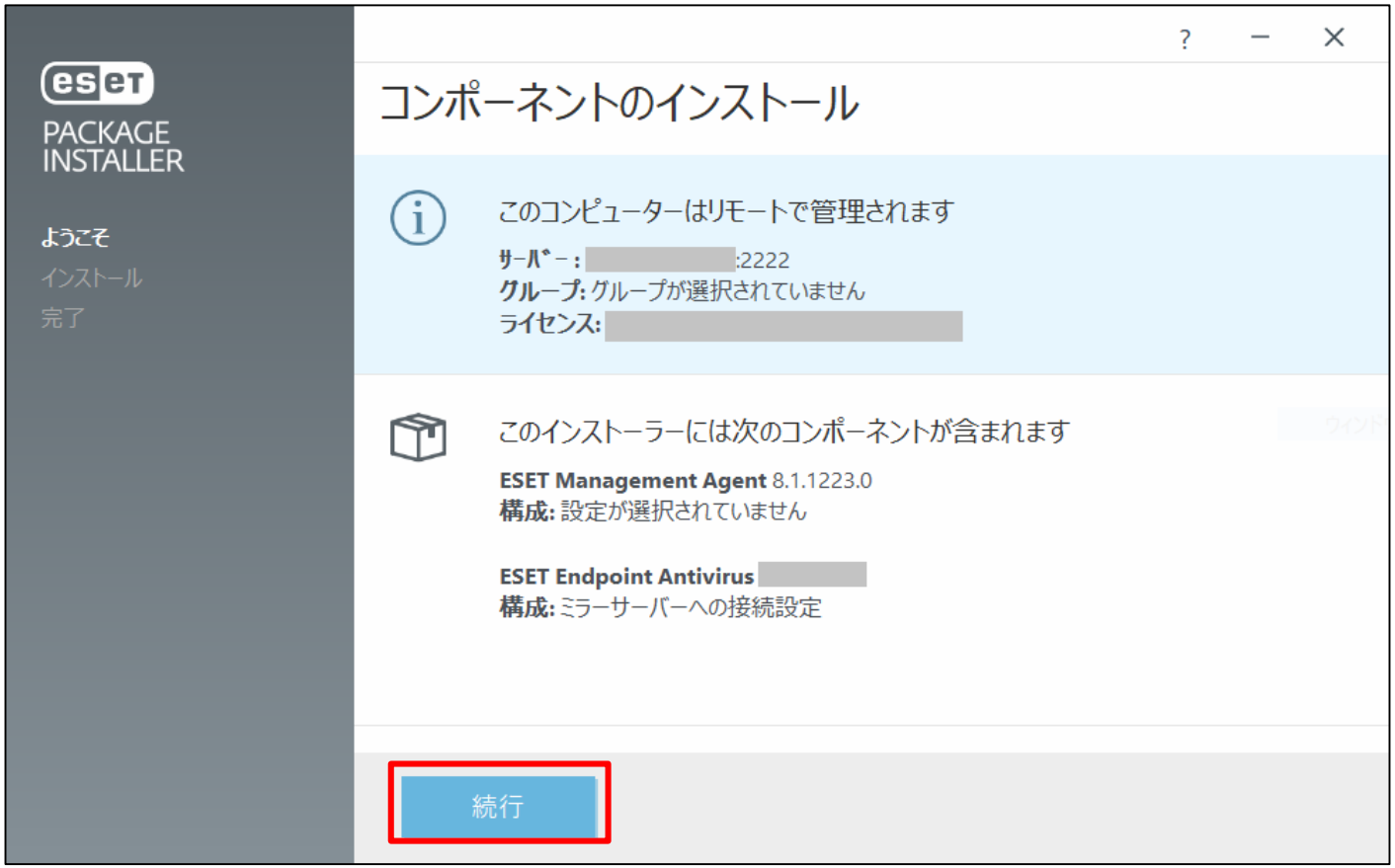
重要

ESET Endpoint アンチウイルスをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。



2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの実行

- 以下のような画面が表示されましたら、「続行」をクリックします。

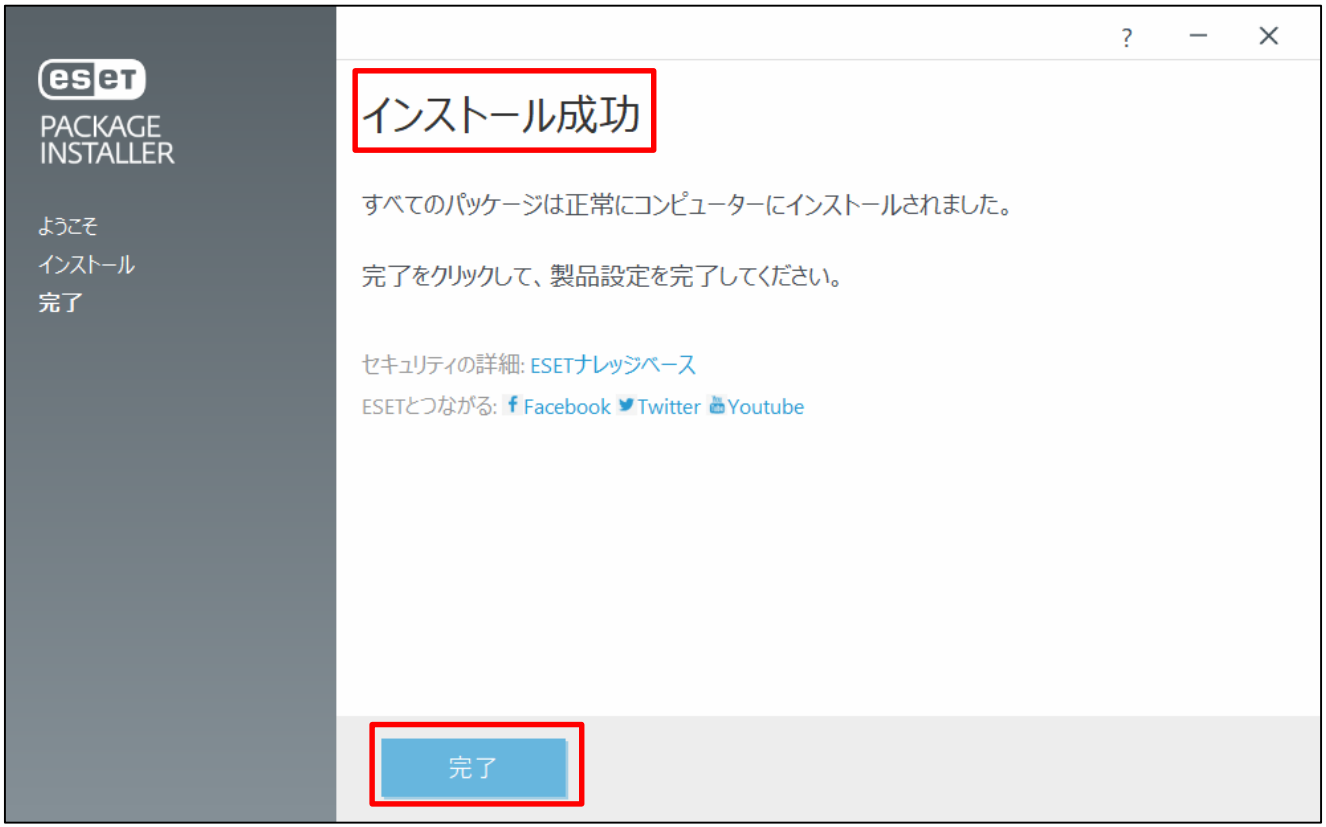


※画像は、ESET PROTECTで作成したオールインワンインストーラーのものです。

2 クライアントPCへの展開 – オールインワンインストーラーの実行

- 「インストール成功」画面が表示されましたら、「完了」クリックします。

以上で、「オールインワンインストーラーの実行」作業は完了です。



※画像は、ESET PROTECTで作成したオールインワンインストーラーのものです。

2 管理するクライアントPCの確認

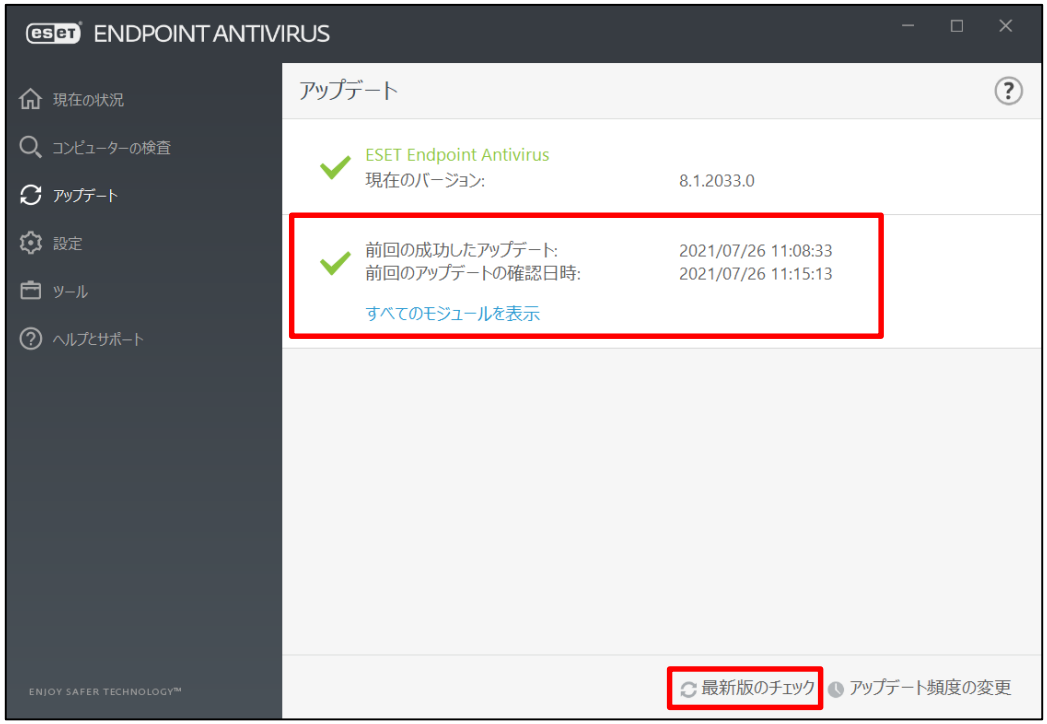
環境構築作業の確認として、管理する各クライアントPCの確認を行います。

- オールインワンインストーラーを実行したクライアントPCにて、ESET Endpoint アンチウイルス の画面を表示し、「アップデート」をクリックします。

※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

2 管理するクライアントPCの確認

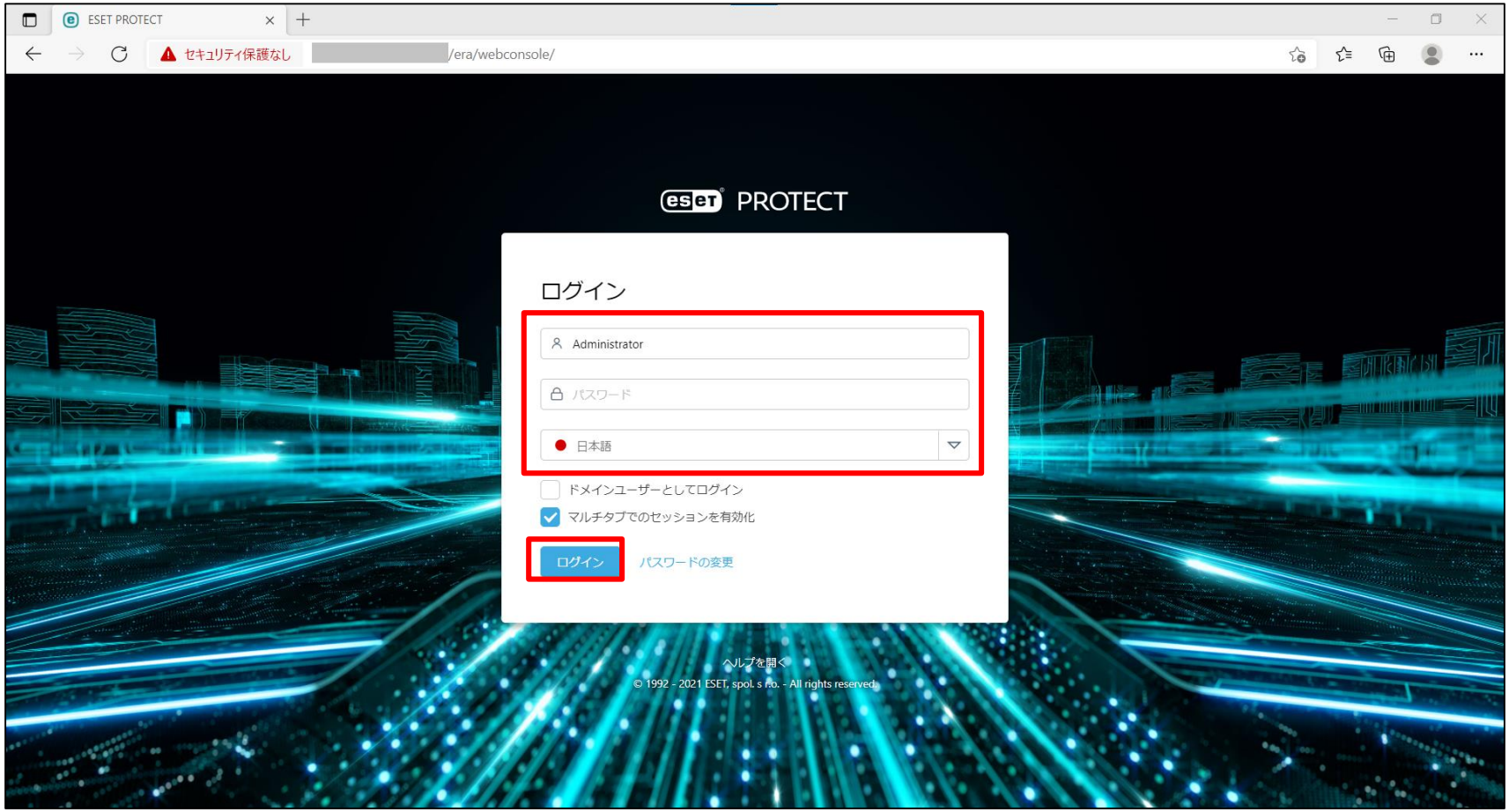
- 「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートし、ミラーサーバーからアップデートできることを確認します。
  ※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。
  ※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。



※画像は、ESET Endpoint アンチウイルス V8.1のものです。

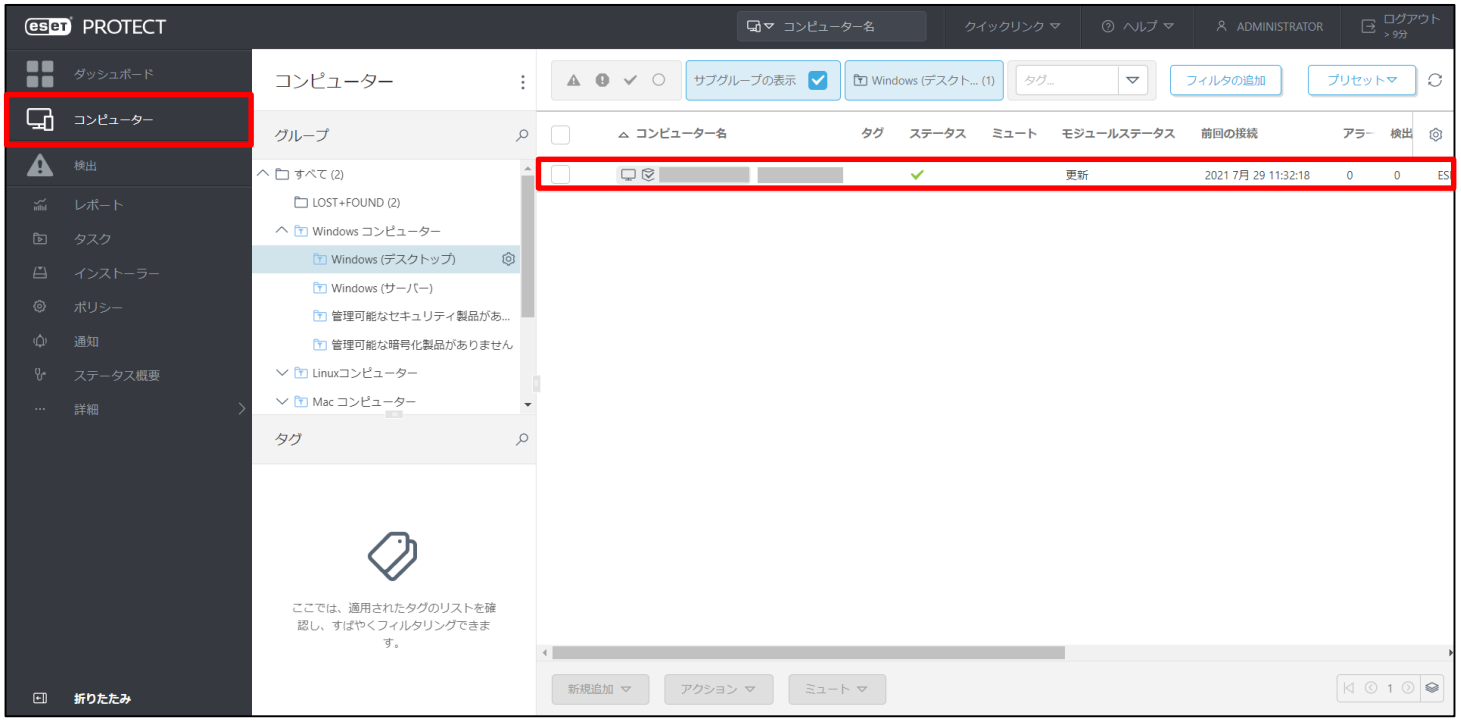
2 管理するクライアントPCの確認

- 続いて、管理サーバーにて、クライアントが管理できていることを確認します。
- 管理サーバーにログインします。



2 管理するクライアントPCの確認

- 「コンピューター」より、クライアントの一覧画面にオールインワンインストーラーを実行したクライアントが表示されていることを確認してください。
  ※オールインワンインストーラー作成時に、親グループを指定している場合はそちらの各グループを選択してご確認ください。



※画像は、 ESET PROTECT V8.1 のものです。

以上で、構成例2の構築作業は終了となります。